

豊島区子ども読書活動推進計画
(第二次)

平成26年度 各課進捗状況

目次

第 1 部	計画の進捗状況の一覧	1
1	部門別の進捗状況	1
2	各課別の進捗状況	1
第 2 部	各課の実施状況	2
1	図書館課（児童調整担当）	2
2	図書館課（児童）	9
3	図書館課（YA）	22
4	図書館課（点字図書館）	27
5	文化デザイン課	33
6	学習・スポーツ課	37
7	教育委員会（学校運営課・学校施設課・教育指導課）	38
8	幼稚園	43
9	小学校	48
10	中学校	55
11	池袋保健所（健康推進課）・長崎健康相談所	61
12	子ども課	64
13	子育て支援課	75
14	保育園課	84
15	地域区民ひろば課	91
	＊用語解説	96
	本文中の（※番号）の用語解説	
〈参考〉	計画の数値目標	99
	計画の重点事業	100

第 1 部 計画の進捗状況の一覧

1 部門別の進捗状況

		実施	未実施	進捗率 (%)
第 1 章	子どもと本をつなぐ体制づくり 74 項目 (10 項目)	74 (10)	0 (0)	100% (100%)
第 1	家庭・地域における読書活動の推進 13 項目 (2 項目)	13 (2)	0 (0)	100% (100%)
第 2	区立図書館における読書活動の推進 29 項目 (4 項目)	29 (4)	0 (0)	100% (100%)
第 3	学校における読書活動の推進 11 項目 (4 項目)	11 (4)	0 (0)	100% (100%)
第 4	保育園・区民ひろば等における読書活動の推進 21 項目	21	0	100%
第 2 章	読書活動のための啓発や P R 12 項目	12	0	100%
合 計	86 項目 (うち重点事業 10 項目)	86 (10)	0 (0)	100% (100%)

() 内は重点事業で内数

2 各課別の進捗状況

		実施	未実施	進捗率 (%)
図書館課 (児童調整)	10 項目 (2 項目)	10 (2)	0 (0)	100% (100%)
図書館課 (児童)	20 項目 (3 項目)	20 (3)	0 (0)	100% (100%)
図書館課 (YA)	7 項目	7	0	100%
図書館課 (点字)	8 項目 (1 項目)	8 (1)	0 (0)	100% (100%)
文化デザイン課	5 項目	5	0	100%
学習スポーツ課	1 項目	1	0	100%
教育委員会 (学校運営課・学校施設課・教育指導課)	5 項目 (3 項目)	5 (3)	0 (0)	100% (100%)
幼稚園	5 項目 (1 項目)	5 (1)	0 (0)	100% (100%)
小学校	6 項目 (1 項目)	6 (1)	0 (0)	100% (100%)
中学校	6 項目 (1 項目)	6 (1)	0 (0)	100% (100%)
池袋保健所 (健康推進課)・長崎健康相談所	3 項目	3	0	100%
子ども課	11 項目	11	0	100%
子育て支援課	8 項目	8	0	100%
保育園課	9 項目	9	0	100%
地域区民ひろば課	8 項目	8	0	100%
合 計	112 項目 (12 項目)	112 (12)	0 (0)	100% (100%)

() 内は重点事業で内数

※一つの項目を複数の課で担当しているものがあるため、合計数は子ども読書活動推進計画 (第二次) で取り組む事業数 (86 項目) を超える。

第2部 各課の実施状況

1 図書館課（児童調整）

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【10項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（2項目）

重点事業 1－1－1	事業名	ボランティア人材バンクによるボランティアの活用	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	読み聞かせや本の補修などのボランティアをボランティア人材バンクに登録して、区立小・中学校等に紹介し、登録ボランティアに活動の場を提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	—			
目 標	ボランティア人材バンクを中央図書館に設置し、登録ボランティアの活用を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・平成 24 年 4 月 読み聞かせボランティア養成講座の受講生募集。 5 月 養成講座を開始し、20 名受講する。 7 月 人材バンクに読み聞かせボランティア 2 期生として 20 名登録する。 ・読み聞かせボランティアの活動実績がない区内子どもの施設へ、活動説明を実施し、ボランティアの活用を依頼する。 ・平成 24 年度ボランティア活動実績 区内子どもの施設（子どもスキップ、区民ひろば）述べ 97 か所に読み聞かせボランティアを延べ 309 名派遣した。（平成 25 年 2 月末現在） ・平成 24 年度末の登録ボランティア数は、38 名。		・平成 25 年 4 月 読み聞かせボランティア養成講座の受講生募集。 5 月 養成講座を開始し、19 名受講する。 7 月 人材バンクに読み聞かせボランティア 3 期生として 19 名登録する。 ・平成 25 年度ボランティア活動実績 区内子どもの施設（子どもスキップ、区民ひろば）述べ 143 ヶ所に読み聞かせボランティアを延べ 464 名派遣した。 おはなし会へは 3,808 名の参加があった。（平成 26 年 2 月末現在） ・平成 25 年度末の登録ボランティア数は 50 名。	・読み聞かせボランティアのフォローアップ研修を 3 テーマ、5 回実施。 ・区内子ども施設（区民ひろば、子どもスキップ、保育園）のおはなし会へ派遣 （派遣回数 151 回、ボランティア派遣 446 名、参加者数のべ 4,021 名：12 月末現在） ・平成 26 年度の登録ボランティア数 47 名	

1 図書館（児童調整）

1－1－3	事業名	読み聞かせ等ボランティアの育成及び活動支援	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	子どもと関わりのある施設（区立図書館・学校・児童館など）で、読み聞かせや本の補修・装備等を行うボランティアを継続的に育成する。 現在活動しているボランティアの技術向上を図るとともに、活動の場を提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	年 2 回、外部講師を招き「子どもの読書に関する講習会」を開催している。 ボランティア団体によるおはなし会を開催している。 中・高校生を対象とした読み聞かせ講習を実施し、受講者によるおはなし会を開催している（試行 年 4 回）。 学校の要望により、ボランティア（保護者）を対象とした本の補修や装備の講習会を開催している。			
目 標	図書ボランティアの育成及び活動支援の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・読み聞かせボランティアに対して、外部講師による養成講座を実施。 （養成講座 6 回、フォローアップ講座 2 回） ・年 2 回外部講師を招き、「子ども読書に関する講習会」を開催している。 （平成 24 年度は、7 月、2 月に開催） ・中央図書館、地域館 1 館でボランティアグループによるおはなし会を実施。 （中央年 5 回、千早毎週水曜日） ・学校の要望により、本の補修講習会を実施。		・読み聞かせボランティアに対して、外部講師による養成講座を全 8 回実施。（前期 6 回、後期 2 回） ・年 2 回外部講師を招き、「子ども読書に関する講習会」を実施。 （平成 25 年度は、7 月、2 月） ・中央図書館、地域館 1 館でボランティアグループによるおはなし会を実施。 （中央年 5 回、千早毎週水曜日）		・外部講師による「子どもの読書に関する講習会」を 2 回実施。 ・ボランティアグループによるおはなし会を実施 （中央 年 4 回、千早 水曜日）

第2 区立図書館における読書活動の推進（8 項目）

重点事業 1－2－4	事業名	「としよねつと便」の運行	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	区立小・中学校への団体貸出や保護者による読み聞かせに使用する図書等を専用コンテナで運搬する「としよねつと便」を運行し、学校において区立図書館の図書等が利用しやすい環境を作る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	平成 21 年 5 月より「としよねつと便」の運行（週 2 回）を開始した。			
目 標	平成 22 年度より「としよねつと便」の運行を区立幼稚園にも拡大する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・平成 23 年度同様継続して運行している。 区立幼稚園、小・中学校、6 大学へ週 2 回運行している。(年間 9 2 回)		・平成 24 年度同様継続して運行している。 区立幼稚園、小・中学校、6 大学へ週 2 回運行している。(年間 93 回)	・平成 25 年度同様継続して運行している。 区立幼稚園、小・中学校、6 大学へ週 2 回運行している。(年間 93 回)	

1－2－15	事業名	子どもの読書活動実態調査	所 管	図書館課
事業内容	子どもの読書活動の実態を把握し、読書活動推進の取組みに反映するための調査を、必要に応じて実施していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	平成 20 年度に、区立小・中学校に対し区立図書館への要望調査を実施した。 その結果を、平成 21 年度より開始した、①区立図書館と区立小・中学校間の交換便である「としよねつと便」の運行および②調べ学習や修学旅行などのテーマに応じた図書の「団体貸出セット」の作成・貸出に反映させた。			
目 標	実態調査を実施し、子どもの読書活動を充実するための取組みに反映させていく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・小学校などの団体貸出の依頼などを参考にして、新たに団体貸出セットなどを作成追加している。(24 年度は小学校向け 20 セットを追加する。		・今まで作成したセットの見直しを行った。	・26 年 6～7 月に「読書活動実態調査」を区内小・中・高校生とその保護者を対象に実施した。	

1 図書館（児童調整）

1－2－17	事業名	関連機関への支援・連携	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	区内の子どもと関わりのある施設に向けて、ブックリストの配布、団体貸出、リサイクル図書の提供、出張おはなし会等を行い、各施設における子どもの読書活動の推進を支援していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	年齢に応じたブックリストを配布するとともに、団体貸出、リサイクル図書の提供、出張おはなし会を実施している。 ＜ブックリスト配布先＞ 「ねえ、よんで」 保健所、区立・私立保育園、子ども家庭支援センター、都立大塚ろう学校 「ほんのしまとしま」 区立・私立幼稚園、都立大塚ろう学校 「よんでみよう」 区立小学校、都立大塚ろう学校 地域の関連施設と子育て支援ネットワークを作り、共催事業や情報交換を行っている。			
目 標	ブックリストの配布を子どもが利用する施設へ拡大する等、関連機関への支援・連携を強化していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・平成 23 年度同様継続して行っている。 ・保健所共催事業の取り組み、読み聞かせや本の紹介などを行う。 （池袋保健所パパ・ママ準備教室）（長崎健康相談所 1.6 健診） ・こども課の研修に図書館からも参加する。（児童読み聞かせに関連したもの） ・子育て支援課の研修に講師として参加（児童読み聞かせに関連したもの）	・平成 24 年度同様継続して行っている。 ・保健所共催事業の取り組み、読み聞かせや本の紹介などを行う。 （池袋保健所パパ・ママ準備教室）（長崎健康相談所 1.6 健診）		・平成 25 年度同様継続して、上記関連施設へブックリストの配付を行っている。 ・保健所共催事業の取り組みの中で、読み聞かせや本の紹介などを行う。 （池袋保健所パパ・ママ準備教室）（長崎健康相談所 1.6 健診）	

1 図書館（児童調整）

1－2－18	事業名	子ども読書活動推進会議の開催	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	子ども読書活動推進計画を着実に進めていくため、関係部局で構成する子ども読書活動推進会議を開催し（年2回）、計画事業の進捗状況の把握、計画事業の評価、新たな取組みの必要性の確認等を行う。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	会議を開催し（年2回）、保育園「絵本ぐるっと便」（※22）の企画、ボランティア養成後の活動の場の情報交換などを行っている。			
目 標	子ども読書活動推進会議を開催し、子ども読書活動推進計画を着実に推進していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・平成 25 年 3 月開催。		・平成 26 年 3 月開催		・2 回実施（12 月、2 月 25 日予定）

1－2－19	事業名	豊島区子ども読書活動推進連絡会の開催	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	子ども読書活動推進計画を着実に進めていくため、豊島区子ども読書活動推進連絡会を開催し、子どもの読書に関わるボランティア団体と、講習会等の事業について情報交換を行うとともに、相互の協働の可能性を探っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	連絡会を開催し（年 2 回）、おはなし会の実施状況の情報交換、区立図書館が主催する講習会などの情報提供、ボランティア会報の配布等を行っている。 区立図書館では、ボランティア団体によるおはなし会を実施している。			
目 標	豊島区子ども読書活動推進連絡会を開催し、子ども読書活動推進計画を着実に推進していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・平成 25 年 2 月 24 日（日）実施。 ・中央図書館で、連絡会に参加しているボランティア団体によるおはなし会を実施している。（年 5 回）		・平成 26 年 2 月 23 日（日）実施。 ・中央図書館で、連絡会に参加しているボランティア団体によるおはなし会を実施している。（年 5 回）		・平成 26 年 2 月実施予定。 ・連絡会のボランティア団体によるおはなし会を実施している。（年 4 回）

1 図書館（児童調整）

1－2－20	事業名	郷土資料館との連携	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	区立図書館は、郷土に関する子どもたちの質問に際し、必要があればすみやかに郷土資料館へ引き継ぎ、より詳しく調べたい子どもたちのニーズに応える。 郷土資料館は、区立図書館の求めに応じて、郷土資料の収集について情報の提供や助言等の協力を行う。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	区立図書館は利用者の要望により郷土資料館を紹介し、郷土資料館は郷土資料に関する情報の提供や資料収集協力を行っている。			
目 標	郷土資料館と区立図書館との連携を強化していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・平成 23 年度同様継続して行っている。		・平成 24 年度同様継続して行っている。		・平成 24 年度同様継続して行っている。

1－2－21	事業名	リサイクル図書の活用	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	区立図書館で不要になったがまだ活用できる図書（以下「リサイクル図書」という。）を、より効率的な方法により、区立小・中学校、幼稚園、保育園等の公共施設に提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各区立図書館から出されるリサイクル図書を、当該図書館の周辺にある区立小学校、幼稚園、保育園、区民ひろば等に提供している。			
目 標	今後もリサイクル図書の提供を行うとともに、リサイクル図書を最大限に活用できるよう現行の方法を改善していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・平成 23 年度同様継続して行っている。 ・竹岡健康学園にもリサイクル本を送り、再利用している。(年 4 回)		・平成 24 年度同様継続して行っている。 ・竹岡健康学園へリサイクル本の配送を実施（年 4 回） 〔閉園のため 25 年度末で事業終了〕		・平成 25 年度同様、区内施設にリサイクル図書の提供を継続して行っている。

1 図書館（児童調整）

1－2－29	事業名	職員の資質の向上	所 管	図書館課 (児童調整)
事業内容	読書案内・図書館利用指導・情報活用能力の育成から図書館運営まで、児童・YA（※23）サービスの向上を図るため、子どもと子どもの本に関する様々な情報収集を行い、子どもと本を結びつける技術の習得・向上に取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	平成 21 年度は図書館職員対象の研修（外部講師）を年 2 回実施している。 児童、YA 担当ごとに内部研修を実施している。 外部講師による「子どもの読書に関する講習会」（区民対象・年 2 回開催）へ参加している。 都立図書館主催の研修に随時参加している。 職員が情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。			
目 標	研修への参加や自己啓発により、資質の向上を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・平成 23 年度同様継続して行っている。		・平成 24 年度同様継続して行っている。		・平成 25 年度同様「子どもの読書に関する講習会」の受講など継続して行っている。

2 図書館課（児童）

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【16項目】

第2 区立図書館における読書活動の推進（16項目）

重点事業 1－2－1	事業名	幼児・小学生向け行事の開催	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター（※9）、ストーリーテリング（※10）、スライド（※11）等を行う「おはなし会」を区立図書館全館で開催する。 季節にちなんだ「お楽しみ会」、「映画会」、「工作会」等、子どもと本の出会いの場となる様々な行事を開催する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	「おはなし会」を区立図書館全館で実施している。（週 1 回） 季節にちなんだ「おはなし会」「映画会」「工作会」等を適宜実施している。 夏休みには、「一日こども図書館員」及び「図書館タンテイ」（本の検索ラリー）を区立図書館 1 館で実施している。			
目 標	平成 2 3 年度までに、「図書館タンテイ」を区立図書館全館で実施する。 「おはなし会」等の幼児・小学生向け行事を実施し、子どもと本の出会いとなる機会を増やす。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・おはなし会の取り組みは継続して実施している。 ・「図書館タンテイ」 7 月 28 日（土）～8 月 5 日（日）開館～16 時 30 分 対象を小学生とし、全館で開催する。 低学年 1 5 0 3 名、高学年 6 9 6 名、計 2 1 9 9 名と、前年度に比べ約 5 倍の参加があった。 【池袋】 ・8 月 8 日に実施した「一日子ども図書館員」では、小学 4 年～6 年生を対象に 8 名が参加した。 ・おはなし会等の参加人数が少ないこともあり、12 月にアンケート調査を行った。利用者が参加しやすい時間帯を検討している。	・おはなし会の取り組みは継続して実施している。 ・「図書館タンテイ」 7 月 27 日（土）～8 月 4 日（日）開館～16 時 30 分 対象を小学生とし、全館で開催する。 ・全館で、低学年 1281 名、高学年 665 名計 1946 名の参加があった。 ・本の福袋（おたのしみ袋）実施 テーマで集めた本を 3 冊 1 セットにして貸出した。（駒込、千早、池袋、上池袋、目白） ・一日子ども図書館員実施（池袋、巣鴨） ・かがく遊び実施（中央、目白、上池袋） ・かるた会実施（中央、駒込、上池袋、池袋） ・小学生向けおはなし会実施（上池袋）		・「おはなし会」は継続して実施している。 ・「図書館タンテイ」 7 月 26 日（土）～8 月 3 日（日）開館～16 時 30 分 対象は小学生。参加者 1,671 名。 ・「本の福袋」、「おたのしみ袋」（駒込、上池袋、池袋、目白、千早） ・「一日子ども図書館員」（池袋） ・「かるた会」（中央、駒込、上池袋、池袋、目白） ・「かがく遊び」、「科学教室」（中央、目白、上池袋） ・「てのひらすいぞくかん」（駒込） 区民ひろば駒込共催事業（62 組 124 名） ・「音楽つきおはなし会」（目白） ・映画会（上池袋） 6 回実施（3 月末までに） ・工作会（上池袋） ・小学生向けおはなし会実施（上池袋）（巣鴨図書館 26 年度休館）	

2 図書館 (児童)

重点事業 1－2－2	事業名	子ども向け図書等の充実	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	調べ学習に対応する図書、親しみやすいジャンルや、時代に即した図書等を計画的に収集し、幅広い利用者の求めに応える蔵書を構築する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	調べ学習用図書、子どもが楽しめる図書等を幅広く収集するとともに、古くなった図書を買替え、蔵書の充実を図っている。 「よんでみよう」掲載図書コーナーを設置している。			
目 標	蔵書の一層の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・「よんでみよう」掲載図書コーナーの全館設置を継続して実施。 【池袋】 ・新しい情報の資料や幅広い分野の資料を積極的に購入した。		・「よんでみよう」掲載図書コーナーの全館設置を継続して実施。 ・毎月、図書館員が推奨する“おすすめ本”のブックリストを配布してる。 (千早)		・「よんでみよう」掲載図書コーナーの全館設置を継続して実施。 ・全国学校図書館協議会選定「よい本」のコーナーを設置。 (池袋)
				(巣鴨図書館 26 年度休館)

2 図書館（児童）

重点事業 1－2－3	事業名	学校への支援・連携	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	区立幼稚園・小・中学校（以下「学校」という。）に対して、学校訪問（※１２）、学級招待（※１３）、職場体験等（以下「学校向け図書館サービス」という。）を実施するとともに、リサイクル図書の提供等の学校支援サービスを行う。 区立図書館の仕事を体験する職場体験を地域の中学生に向けて実施し、図書館への理解を深めることで読書への興味につなげていく。 区内小・中学校特別支援学級や都立大塚ろう学校（豊島区）等に対して、団体貸出・学校訪問・学級招待等の支援を行っていく。 千葉県富津市にある区立竹岡健康学園に対して、団体貸出・リサイクル図書の提供等、定期的に配本を行っていく。 学校と区立図書館が連携して、学校教育における読書環境の充実を図っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	学校の要望により、学校向け図書館サービスを実施している。 区立図書館全館で中学生の職場体験を受け入れている。平成 21 年度は 5 日間の日程で実施した。 随時、リサイクル図書の提供を行っている。 学校ボランティアを対象として、本の補修等の講習を実施している。 学校図書館担当者連絡会を実施し（年 2 回）、区立図書館職員による研修や、意見交換を行っている。 特別支援学級や都立大塚ろう学校に対して、団体貸出・学校訪問等を実施している。 区立竹岡健康学園に対して、団体貸出（年 4 回）として配本するとともに、現地訪問し、読み聞かせ等を行っている。			
目 標	引き続き上記の取組みを行うとともに、学校向け図書館サービスの内容の充実を図り、学校への支援・連携を強化していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 22、23 年度同様継続している。 【中央】 ・ 竹岡健康学園への年 4 回の団体貸出、リサイクル図書の提供を引き続き継続している。 ・ 竹岡健康学園の児童に対しては、各児童の要望、読書力に応じた本を個別に選び、団体貸出を行うことで、読書力にあった本を児童に渡す取り組みを試験的に実施した。		・ 24 年度同様継続している。 ・ 竹岡健康学園への年 4 回の団体貸出を引き続き継続している。（中央） 〔25 年度末で閉園のため事業終了〕 ・ 小学校の町探検で、図書館の見学が行われた。（千早、池袋、上池袋）		・ 学校向けサービス（ブックトーク（※１）、学級招待、職場体験など）は継続して実施している。 ・ 小学校の町探検で、図書館見学を実施。（中央、上池袋、池袋、千早） ・ 学校の図書ボランティアの保護者対象に、本の補修講習を行った。（池袋）

2 図書館 (児童)

1-2-5	事業名	乳児向け行事の開催	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	乳児と保護者が一緒に楽しむことができる、乳児向け絵本の読み聞かせ・紙芝居・ふれあい遊び・わらべうた・ペープサート（※19）等を行う「あかちゃんおはなし会」を開催する。			
推 進 計 画				
平成21年度 末までの状況	「あかちゃんおはなし会」を区立図書館5館で開催している。			
目 標	平成27年度までに、「あかちゃんおはなし会」を区立図書館全館で開催する。			
実 施 状 況				
平成24年度		平成25年度		平成26年度
・23年度同様、継続して行っている。 【中央】 ・平成24年5月より、東部子ども家庭支援センターでわらべ歌の会を隔月で実施。 【池袋】 ・平成25年度中の「あかちゃんおはなし会」開催実施に向けて、すでに実施している各図書館への見学を行い「あかちゃんおはなし会」のプログラム内容等の計画を進めている。 【駒込】 ・2月6日（水）3月6日（水）「あかちゃんおはなし会」を実施 ＊平成25年4月より、第一水曜日11時から開催予定。		25年度より、全館で、あかちゃんおはなし会を実施した。 25年度より、池袋、駒込もあかちゃんおはなし会を実施する。		・あかちゃんおはなし会を継続して実施。 （巣鴨図書館 26年度休館）

2 図書館（児童）

1－2－6	事業名	乳幼児向けコーナーの設置	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	乳幼児向けの絵本や区立図書館で作成している乳幼児向けブックリスト（0～2歳児向け「ねえ、よんで」・3～6歳児向け「ほんのしまとしま」）に掲載している図書のコーナーを設置する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児向けの絵本コーナーや各種ブックリスト掲載図書のコーナーを全館で設置している。			
目 標	乳幼児向け各コーナーの蔵書の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
23 年度同様継続して行っている。 ・「ねえ、よんで」を 23 年度改訂し、24 年 4 月より発行した。 ・ 3～6 歳児向けブックリスト「ほんのしまとしま」の改訂作業を行っている。(平成 2 5 年 4 月より配布)		24 年度同様継続して行っている。 ・「ほんのしまとしま」を 24 年度改訂し、25 年 4 月より発行した。 ・子ども用図書館利用案内「ようこそとしょかんへ」の改訂作業を行っている。(平成 26 年 4 月より配布)		・乳幼児向けブックリストの掲載図書コーナーを継続して設置。 (巣鴨図書館 26 年度休館)

1－2－7	事業名	乳幼児の利用の推進	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	乳幼児の保護者に対して、乳幼児から区立図書館の利用登録ができることをPRし、利用カードを作成、利用してもらうことで、家庭における乳幼児期の読書を推進する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	池袋保健所の両親学級及び長崎健康相談所の 1 歳 6 か月健診で、区立図書館の利用のPRを行っている。			
目 標	平成 2 3 年度より、乳幼児が利用する施設等で区立図書館の利用案内を配布し利用の推進を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
23 年度同様継続して行っている。		24 年度同様継続して行っている。		・「ねえ、よんで」(27 年 4 月発行予定)の改訂作業を行っている。

2 図書館（児童）

1－2－8	事業名	子どもの読書情報交換コーナーの充実	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	面白かった本の感想や紹介など子どもの読書に関する活発な発言の場として掲示板などを設置し、子ども同士及び子どもと区立図書館の情報交換の場を作る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	区立図書館 1 館で、自由な発言の場として「ひとことばこ」を設置している。			
目 標	平成 22 年度に区立図書館全館に子どもの読書情報交換コーナーを設置し、子どもの情報交換の場を充実させ、子どもの声を反映させた蔵書の充実につなげる。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・各館 情報交換ボックスなどを設置し子どもの読書交換コーナーを充実させた。 ・(千早図書館) 学年・学級招待した児童に記入してもらい、学校ごとに一定期間掲示。 ・23 年度同様継続して行っている。 「池袋」 ・人気のある本や掲示板で購入希望があった本等について、図書館側からも情報提供している。		・24 年度同様継続して行っている。		・25 年度同様、各館で情報交換ボックスや掲示板を設置し、利用者からのおすすめ本の紹介やリクエストに対し、図書館のコメントを加えて、一定期間掲示。 (巣鴨図書館 26 年度休館)

2 図書館（児童）

1－2－9	事業名	子ども向けホームページの充実	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	区立図書館ホームページのサイト内にある子ども向けページに、推薦図書の紹介や催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ホームページに区立図書館の利用案内、催し物案内、推薦図書の紹介等を掲載している。 「10 代のための Y A（ヤングアダルトの略。以下「YA」という。）ページ」を開設している。			
目 標	各図書館の特集棚の紹介等、コンテンツの充実を図るとともに、子どもが利用しやすいホームページを目指す。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様継続して行っている。		・ 27 年 1 月の図書館システムの切替え時に「こどもページ」と「10 代のためのページ」のホームページをリニューアル予定。

1－2－11	事業名	外国語図書等の整備・充実		所 管	図書館課 (児童)
事業内容	多言語にわたり外国語児童図書等の収集に努め、言語別分類を整備していく。 外国語を話す子どもが日本語を学ぶための図書等の収集・充実に努める。				
推 進 計 画					
平成 21 年度 末までの状況	英語・中国語・韓国語等の児童向け図書等を収集し、言語別に分類し配架している。				
目 標	外国語図書等の収集を行い、充実を図る。				
実 施 状 況					
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
・ 23 年度同様継続して行っている。 「中央」 ・ 日本語に翻訳された本、日本の作者の外国語版を中心に収集し、蔵書の充実を図ることによって、外国語が母語の子どもに対してはもちろん、外国語を学習するための資料としても役立つような収集を行った。 「池袋」 ・ 所蔵資料の整備を行った。		・ 24 年度同様継続して行っている。 ・ 外国語の絵本図書の収集を図った (池袋)		・ 日本語に翻訳された本、日本の作者の外国語版を中心に収集し、蔵書の充実を図ることによって、外国語が母語の子どもに対してはもちろん、外国語を学習するための資料としても役立つような収集を行った。(中央、駒込) (巣鴨図書館 26 年度休館)	

2 図書館（児童）

1－2－12	事業名	子ども向け記念行事の開催	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	子ども読書の日（4月23日）と文字・活字文化の日（10月27日）を記念した行事を区立図書館全館で開催し、子どもへの読書の普及啓発に努める。 終戦記念日（8月15日）前後に、平和を伝える平和普及事業を区立図書館全館で実施する。			
推 進 計 画				
平成21年度 末までの状況	「スペシャルおはなし会」「映画会」「テーマに沿った本の特別展示」等を実施している。			
目 標	子どもへの読書の普及啓発のため、子ども向け記念行事等の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成24年度		平成25年度		平成26年度
・23年度同様継続して行っている。		・24年度同様継続して行っている。		・25年度同様、子ども向け記念行事を継続して行っている。 (巣鴨図書館 26年度休館)

1－2－13	事業名	児童書に関する研究図書等の充実	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	子どもの発達段階に応じた本の選び方・楽しみ方、児童文学論など、大人向けに書かれた「児童書に関する研究図書」等の充実を図る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	児童書に関する研究図書等を収集し、コーナーを設置する。			
目 標	引き続き児童書に関する研究図書等の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
中央図書館を中心に、児童書に関する研究図書を収集している。		・ 24 年度同様、継続して行っている。		・ 中央図書館を中心に、児童書に関する研究図書を収集し、コーナーを設置している。 (巣鴨図書館 26 年度休館)

2 図書館（児童）

1－2－14	事業名	郷土に関する図書等の収集・提供	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	豊島区の歴史、地域の昔話や子ども文化（学校・生活・遊び）など、ふるさと豊島について子どもが学び、興味を抱けるよう、郷土に関する図書等の収集・提供に努める。 郷土に関わる作家の図書等も積極的に収集・提供していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	郷土カルタ、郷土すごろくを含む郷土に関する図書等を収集し、提供している。			
目 標	郷土に関する図書や郷土に関わる作家の図書等を充実し、提供する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様継続して行っている。		・ 郷土に関する図書等を積極的に収集し、提供している

1－2－16	事業名	「団体貸出セット」の貸出	所 管	図書館課（児童）
事業内容	区立小・中学校における学校図書館や学級文庫の蔵書の不足、児童生徒の調べ学習に対応して、区立図書館で図書の「団体貸出セット」を用意し、貸出をしていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	区立小・中学校に対する希望図書調査の結果を踏まえ、「団体貸出セット」（40 冊×16 セット）を用意し、平成 21 年 12 月より貸出を開始した。			
目 標	区立小・中学校の要望を踏まえ「貸出セット」の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・前年度の団体貸出の結果を元に、需要が多い内容の団体貸出セットを新たに児童用（小学生向け）20 セット、YA 用（中学生向け）3 セットの団体貸出セットを作成した。		・今まで作成したセットの見直しを行った。		・「団体貸出セット（小学校）」の貸出を継続して行っている。 35 テーマ、62 セット

2 図書館（児童）

1－2－17	事業名	関連機関への支援・連携	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	区内の子どもと関わりのある施設に向けて、ブックリストの配布、団体貸出、リサイクル図書の提供、出張おはなし会等を行い、各施設における子どもの読書活動の推進を支援していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	年齢に応じたブックリストを配布するとともに、団体貸出、リサイクル図書の提供、出張おはなし会を実施している。 ＜ブックリスト配布先＞ 「ねえ、よんで」 保健所、区立・私立保育園、子ども家庭支援センター、都立大塚ろう学校 「ほんのしまとしま」 区立・私立幼稚園、都立大塚ろう学校 「よんでみよう」 区立小学校、都立大塚ろう学校 地域の関連施設と子育て支援ネットワークを作り、共催事業や情報交換を行っている。			
目 標	ブックリストの配布を子どもが利用する施設へ拡大する等、関連機関への支援・連携を強化していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。 「中央」 ・ 平成 24 年 5 月より隔月で、東部子ども家庭支援センターにてわらべうたの会を実施している。 「目白」 ・ 幼稚園でのおはなし会を 5 月と 10 月に実施した。		・ 24 年度同様継続して行っている。 ・ 隔月で、東部子ども家庭支援センターにてわらべうたの会を実施している（中央） ・ 長崎保健相談所の図書館案内のポスターをリニューアルし、見やすくした。		・ 「ブックリスト等の配付」 関係機関への配付を継続して行っている。 ・ 東部子ども家庭支援センターでわらべうたの会を、隔月で実施している（中央） ・ 「子育てネットワーク会議」 地域の子育て関連施設で構成する子育て支援ネットワーク会議で情報交換を行っている。 ・ 「幼稚園でのおはなし会」を実施（池袋）

2 図書館（児童）

1－2－21	事業名	リサイクル図書の活用	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	区立図書館で不要になったがまだ活用できる図書（以下「リサイクル図書」という。）を、より効率的な方法により、区立小・中学校、幼稚園、保育園等の公共施設に提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各区立図書館から出されるリサイクル図書を、当該図書館の周辺にある区立小学校、幼稚園、保育園、区民ひろば等に提供している。			
目 標	今後もリサイクル図書の提供を行うとともに、リサイクル図書を最大限に活用できるよう現行の方法を改善していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・22 年度同様継続して行っている。 「中央」 ・近隣の保育園、区民ひろば等へのリサイクル図書の提供を行っている。 「目白」 ・子育てネットワーク加入機関にリサイクル図書を提供予定。		・24 年度同様継続して行っている。 ・近隣の保育園、区民ひろばなど子育てネットワーク加入機関等へのリサイクル図書の提供を行っている。 ・区民ひろば仰高のオープン時にリサイクル図書の提供を行う。(駒込)		・25 年度同様、公共施設へリサイクル図書の提供を行っている。 継続して行っている。 ・近隣施設や担当教育機関を対象に本のリサイクル市を行い、リサイクル図書を提供した。(駒込、池袋) ・子育てネットワーク加入機関にリサイクル図書を提供予定。(目白) (巣鴨図書館 26 年度休館)

1－2－24	事業名	区立図書館での調べものの支援	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	知りたいこと・調べたいことのテーマの絞り方や、図書・新聞・雑誌・図書館ホームページ等各種の情報媒体からどのように情報を集めるかについて、生徒に対してサポートを行う。 本の配列等を含めた図書館の上手な使い方の説明、調べたい内容についての参考図書の紹介とその利用方法の説明など、必要に応じた情報収集および活用能力の向上を支援していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	学級招待や職場体験時に、一部実施している。			
目 標	「図書館での情報収集の手引き」を作成し、支援の強化を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・23 年度同様継続して行っている。 ・日常業務内での質問等に解答するだけでなく、「一日子ども図書館員」や学校訪問等の機会、図書館の利用、調べ物についてなどの説明を行っている。(池袋)		・24 年度同様継続して行っている。 ・町探検で来館する児童に回答するだけでなく、図書館案内をした職場インタビュー、学校訪問等でも説明を行っている。(千早)		・25 年度同様「一日子ども図書館員」や職場体験、学級招待時に、図書館を使った調べ方についてなどの説明を行っている。

第2章 読書活動のための啓発やPR【4項目】

2－1－1	事業名	保護者および地域への啓発	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	区立図書館で作成する図書館利用案内、図書館通信や推薦図書を掲載したブックリストを保護者に配布する。 「読み聞かせ講習会」等子どもの読書に関する講習会を開催し、家庭・地域へ向け、読書や読み聞かせの啓発に努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	学校、保育園等でブックリストを配布している。 外部講師による「子ども読書に関する講習会」を開催している。(年 2 回)			
目 標	保護者および地域への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・23 年度同様継続して行っている。	・24 年度同様継続して行っている。 ・千早図書館で行っている読み聞かせボランティアに読み聞かせ講習会を実施した。(千早)		・25 年度同様継続して、関連施設へブックリストを配付。 ・子どもの読書に関する講習会を 2 回実施。 ・子育てネットワーク加入機関に、ブックリスト等の配付を依頼。 (上池袋)	

2-1-4	事業名	乳幼児向けブックリストの作成・配布	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	0～2歳児向けブックリスト「ねえ、よんで」や、3～6歳児向けブックリスト「ほんのしまとしま」を作成し、保護者に配布し、子どもの発達段階に応じた読書・読み聞かせの啓発を行う。 英語版の「ねえ、よんで」を作成・配布する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	0～2歳児向けブックリスト「ねえ、よんで」及び3～6歳児向けブックリスト「ほんのしまとしま」を作成・配布している。			
目 標	乳幼児向けブックリストを作成・配布する。 新たに英語版・中国語版のブックリストを作成する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・「ねえよんで」を 24 年度改訂発行した。 ・「ほんのしまとしま」を 25 年度 4 月発行に向けて改訂中。 ・韓国語版ブックリストを引き続き検討中。		・「ほんのしまとしま」を改訂し、25 年 4 月に発行した。		・「ねえ、よんで」、「ほんのしまとしま」の配付を継続して行っている。 ・「ねえ、よんで」(27 年 4 月発行予定)の改訂作業を行っている。

2 図書館（児童）

2-1-5	事業名	子ども向け図書館利用案内の作成・配布	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	子ども向け図書館利用案内を作成し、区立図書館における行事や書架の案内など地域の子どものに対し区立図書館のPRに努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	「ようこそとしょかんへ（子ども向け図書館利用案内）」を作成し、区立小学校の新 1 年生に配布している。 子ども向けの図書館のしおり及び書架案内を作成している。（区立図書館 3 館）			
目 標	平成 23 年度までに図書館のしおり及び書架案内を区立図書館全館で作成する。 外国語の図書館利用案内を作成する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・23 年度同様継続して行っている。		・子ども向け図書館利用案内「ようこそとしょかんへ」を 26 年度 4 月発行に向けて改訂中。		・「ようこそとしょかんへ」を 26 年 4 月に改定し、区立小学校の新 1 年生に配付した。

2－1－6	事業名	子ども向け行事の案内	所 管	図書館課 (児童)
事業内容	区立図書館で実施する子ども向け行事を掲載したお知らせを発行し、周知する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども向け行事案内、図書館だよりや行事カレンダーを区立図書館全館で発行し、利用者や学校等に配布するとともに、行事用ポスターを作成・掲示している。			
目 標	子ども向け行事案内等を発行していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・23 年度同様継続して行っている。		・24 年度同様継続して行っている。		・25 年度同様継続して、各行事の案内は、ポスター、チラシ等の作成及びホームページ等で周知を行っている。

3 図書館課（YA）

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【6項目】

●区立図書館における読書活動の推進（6項目）

1－2－21	事業名	リサイクル図書の活用	所 管	図書館課 (YA)
事業内容	区立図書館で不要になったがまだ活用できる図書（以下「リサイクル図書」という。）を、より効率的な方法により、区立小・中学校、幼稚園、保育園等の公共施設に提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各区立図書館から出されるリサイクル図書を、当該図書館の周辺にある区立小学校、幼稚園、保育園、区民ひろば等に提供している。			
目 標	今後もリサイクル図書の提供を行うとともに、リサイクル図書を最大限に活用できるよう現行の方法を改善していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
上記の取り組みを継続して行っている。		上記の取り組みを継続して行っている。		上記の取り組みを継続して行っている。

3 図書館課（YA）

1－2－22	事業名	YA コーナーの図書等の充実・優先閲覧席の増設	所 管	図書館課 (YA)
事業内容	10 代のための YA (※ 2 3) コーナーの図書等を充実させ、優先閲覧席を整備・増設し、10 代の子どもの読書活動の推進に努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	区立図書館全館に 10 代のための YA コーナーを設置し、10 代のための図書等を購入している。 区立図書館 3 館で優先閲覧席を導入している。			
目 標	区立図書館全館で 10 代のための図書等の充実を図り、優先閲覧席を導入する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
YA 自由裁量枠予算から、各館へ分配 (例年 3 万円程度) し、YA コーナーの資料充実を図っている。		YA 自由裁量枠予算から、各館へのおすすめ本補充等により、YA コーナーの資料充実を図っている。		YA 自由裁量枠予算から、各館へのオススメ本補充等により、YA コーナーの資料充実を図っている。

1－2－23	事業名	YA 読書情報交換コーナーの充実	所 管	図書館課 (YA)
事業内容	面白かった本の紹介や図書館への質問など、10 代の子どもの読書や図書館に対する活発な情報交換の場として掲示板や意見箱を設置し、読書情報交換の場を作る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	中学生の職場体験時に作成した、本の紹介等の POP（内容紹介やおすすめコメント等が書かれているカード）を館内に展示している。			
目 標	平成 23 年度にお薦め本の紹介等を募集し、館内掲示等を行う。 掲示板や意見箱を設置し、読書情報交換の場を充実させる。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
各館 YA コーナーにおすすめ本の紹介カードと、それを集める箱を設置。 集められた情報は掲示している。		各館 YA コーナーにおすすめ本の紹介カードと、それを集める箱を設置。集められた情報は掲示している。		各館 YA コーナーに中・高校生が同年代にお勧めする「本の紹介カード」と、カードの回収箱を設置。集められた情報を掲示し、未所蔵資料については、選書の参考とし、購入検討も行っている。

3 図書館課（YA）

1－2－24	事業名	区立図書館での調べものの支援		所 管	図書館課 (YA)
事業内容	知りたいこと・調べたいことのテーマの絞り方や、図書・新聞・雑誌・図書館ホームページ等各種の情報媒体からどのように情報を集めるかについて、生徒に対してサポートを行う。 本の配列等を含めた図書館の上手な使い方の説明、調べたい内容についての参考図書の紹介とその利用方法の説明など、必要に応じた情報収集および活用能力の向上を支援していく。				
推 進 計 画					
平成 21 年度 末までの状況	学級招待や職場体験時に、一部実施している。				
目 標	「図書館での情報収集の手引き」を作成し、支援の強化を図る。				
実 施 状 況					
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
- 区立図書館ホームページ「10代のための YA ページ」に、「調べ学習のツボ」コーナーを設け、調べ方などについて掲載。 - 昨年度に引き続き、調べ学習支援のための「団体貸出しセット」を作成（セット数の追加は1テーマ、他は改訂版等への買い替え）。 追加したテーマ：「信州・長野」（2セット） 買い替え等更新をしたテーマ：「尾瀬」「湘南」「東京」「猪苗代」「信州・長野」「修学旅行」 - 学校訪問（中学1年生）でレファレンスブックの解説等を実施（駒込）。		- 区立図書館ホームページ「10代のための YA ページ」に、「調べ学習のツボ」コーナーを設け、調べ方などについて掲載。 - 昨年度に引き続き、団体貸出しセット用及び学校向調べ学習支援に関連するテーマの資料補充を行った。 買替え等更新をした団体貸出しセットのテーマ：「猪苗代」「YA おすすめ本」「尾瀬」「仕事」「修学旅行」「湘南」「信州・長野」「調べ学習」		- 区立図書館ホームページ「10代のための YA ページ」に、「調べ学習のツボ」コンテンツを設け、情報の調べ方・図書館の活用法などについて掲載。 ホームページのリニューアルに伴い、図書館サービス、団体貸出など利用促進のための「学校の先生方へ」コンテンツを新設。 - 昨年度に引き続き、団体貸出しセット用及び調べ学習支援に関するテーマの資料補充を行った。全 14 テーマについて更新を行い、下記の 2 つのテーマについて、テーマ名を改定した。 「猪苗代」⇒「スキー（雪国の生活）」 「読み物」⇒「朝読」	

3 図書館課（YA）

1－2－25	事業名	中高生のボランティア体験	所 管	図書館課 (YA)
事業内容	中高生のボランティアを受け入れ、図書館運営への参加を通じて、中高生が読書や図書館に対する新たな楽しみを見つける機会を作る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	中高生による読み聞かせを実施している。(平成 21 年度試行、年間 4 回、中央図書館にて実施)			
目 標	中高生のボランティアの受け入れを検討する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・中央図書館にて、中高生による読み聞かせを実施。(年 6 回予定) ・受け入れられる形について、3 月までに具体的に検討予定。		中央図書館にて、中高生による読み聞かせを実施。 (年 6 回予定)	中央図書館にて、中高校生による読み聞かせを実施。 (年 5 回予定)	

1－2－29	事業名	職員の資質の向上	所 管	図書館課 (YA)
事業内容	読書案内・図書館利用指導・情報活用能力の育成から図書館運営まで、児童・YA サービスの向上を図るため、子どもと子どもの本に関する様々な情報収集を行い、子どもと本を結びつける技術の習得・向上に取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	平成 21 年度は図書館職員対象の研修（外部講師）を年 2 回実施している。 児童、YA 担当ごとに内部研修を実施している。 外部講師による「子どもの読書に関する講習会」（区民対象・年 2 回開催）へ参加している。 都立図書館主催の研修に随時参加している。 職員が情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。			
目 標	研修への参加や自己啓発により、資質の向上を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・都立図書館主催の青少年サービス担当者会への出席による情報収集。		都立図書館主催の青少年サービス担当者会への出席による情報収集。		都立図書館主催の「児童・青少年サービス合同担当者会」への出席による情報収集を行った。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1 項目】

2－1－7	事業名	YA 向け読書啓発情報の提供	所 管	図書館課 (YA)
事業内容	推薦図書の紹介、新刊案内や図書館からのお知らせなど、10 代の子どもに向けた読書啓発情報を提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	図書に関する情報は、区立図書館のホームページに「10 代のための YA ページ」を設け、推薦図書の紹介等を掲載している。(毎月更新)			
目 標	平成 23 年度より YA 向け読書啓発情報を紙ベースで提供していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 区立図書館ホームページ「10 代のための YA ページ」において、推薦図書の紹介等を掲載。(毎月更新) ・ 平成 25 年 4 月に紙ベースのブックリストとして発行予定。		・ 区立図書館ホームページ「10 代のための YA ページ」において、推薦図書の紹介を掲載。(毎月更新) ・ 平成 25 年 4 月にブックリスト「オスパラ」を発行し、区立中学校に配布した。 ・ 平成 26 年 4 月にブックリスト「オスパラ」を発行予定。		・ 区立図書館ホームページ「10 代のための YA ページ」において、推薦図書の紹介を掲載。(毎月更新) ・ 平成 25 年、平成 26 年 4 月にブックリスト「オスパラ」を発行し、区立中学校に配布。平成 27 年 4 月にブックリスト「オスパラ」(VOL. 3)を発行し、区立中学校に配付予定。

4 図書館課（点字図書館）

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【5項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（1項目）

重点事業 1－1－2	事業名	点訳・音訳等ボランティアの育成及び活動 支援	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	点字図書館（※2）において、点字図書（点訳）・録音図書（※4）（音訳※5）・拡大 写本（※6）・さわる絵本（※7）の製作及び、対面朗読（※8）等に関わるボランティ アを継続的に育成するとともに、ボランティアの活動を支援し、視覚障害のある子ども からの求めに応じられる体制を整えていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	点訳（※3）・音訳ボランティアについては隔年、拡大写本ボランティアについて は適時、さわる絵本については随時、新人育成を行っている。 各ボランティアの技術向上を図るため、各種講習会を行っている。			
目 標	常に質の高いサービス提供ができるようにボランティアのレベルアップを図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
今年度は、点訳ボランティア の新人養成講習会を開催し、新 人育成を行っている。8名が1 月より新規に活動に加わるこ ととなった。 音訳と点訳ボランティアは、 月例の勉強会や特別講習会な どを開催し、技術向上を図っ ている。拡大写本ボランティア は、月例の活動の中で、維持 向上に努めている。		音訳ボランティアの新人養成 講習会は、内容と受入体制の 見直しのため、開催を見送 った。音訳と点訳ボランティ アは、月例の勉強会や特別 講習会などを開催し、技術 向上を図っている。拡大写 本ボランティアは、月例の 活動の中で、維持向上に 努めている。		点訳ボランティアの新人養成 講習会を開催し、新人育成 を行っている。4名が1月 より新規に活動に加わるこ ととなった。

第2 区立図書館における読書活動の推進（4 項目）

1－2－10	事業名	特別な支援を必要とする子どものための図書等の充実	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	さわる絵本、点字つき絵本（※20）、ユニバーサル絵本（※21）等、すべての子どもが読書を楽しむことのできる図書等の充実に努める。 子ども向けの障害に関する図書等を積極的に収集し、子どもが読書を通して様々な障害を理解しやすい環境を整える。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども向けの障害に関する図書のほか、さわる絵本、点字付き絵本、文字のない絵本等を収集している。			
目 標	特別な支援を必要とする子どものための図書等の収集を行い、充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		
出版点数が限られているので、今年度は児童向けのデージー図書製作を増やすようにした。3タイトル完成し、5タイトル製作着手。 また、厚労省委託図書として児童向け点字図書の配布があるので、継続的に受け入れを行った。	今年度の児童向けのデージー図書製作は、12タイトル完成し、2タイトル着手している。また、厚労省委託図書として、24タイトルの児童向け点字図書の配布があり、継続的に受け入れを行った。	児童向け図書は、以下のタイトル数を受け入れた。 デージー図書 製作4 製作着手4 厚労省委託22。		

4 図書館課（点字図書館）

1－2－26	事業名	図書等の充実	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	点字図書館において、点字図書・録音図書・点字雑誌・録音雑誌・さわる絵本・拡大写本等、視覚障害のある子どものための図書等の充実に努める。 点字つき絵本を製作し、家庭での読み聞かせを支援する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各媒体図書の選書において児童書を増やした。			
目 標	区立図書館が発行しているブックリストに掲載されている絵本を点字付き絵本として製作し、区立図書館（点字図書館を含む）で所蔵する。点字付き絵本リストも作成する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
新規製作した際の進捗度合いと効果等から、他点字館との相互協力等を検討し、12月までに区立図書館の児童向けおすすめ本を基に、掲載タイトルの点訳・音訳の製作有無を調査し、小学1・2年生用点訳ブックリストを作成した。 他学年の分のリスト製作を検討する。 また、「2-1-9 点訳版ブックリストの作成・配布」「2-1-10 点字付き絵本とリストの作成・配布」と目標等に共通する点があるので、その共通する点を基に実施内容を検討する。		区立図書館の児童向けおすすめ本を基に、掲載タイトルの点訳・音訳の製作有無を調査し、3月までに小学3・4年生用点訳ブックリストを作成する予定。		区立図書館発行の読み聞かせ用のブックリストの中から他点字図書館が製作していないタイトルを選び、点字付き絵本2タイトル製作中。点字シールの貼付後は、修正ができないので、試作品が完成した段階。年度内に完成し、ホームページ掲載予定。

4 図書館課（点字図書館）

1－2－27	事業名	サービスの充実	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	点字図書館において、利用者個人からの求めに応じて、図書（点字・録音・拡大）の製作・対面朗読・読書相談・点字指導（※24）など様々なサービスを充実していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	利用者個人からの求めに応じた図書の製作や点字指導を実施している。			
目 標	さらに視覚障害のある子どもに向けたサービスの充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
利用者個人からの求めに応じた小中学校の副教材の点訳や拡大写本の製作、点字指導、対面朗読を実施している。		利用者個人からの求めに応じた小学校の副教材の点訳の製作、点字指導、対面朗読を実施している。		利用者個人からの求めに応じて小学生用問題集の点訳の製作、点字指導、対面朗読を実施している。

1－2－28	事業名	視覚障害者を理解する事業の実施	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	点字図書館において、通常学級の子どもたちに向けた学校訪問・学級招待等のプログラムの中で点字図書館の紹介や点字学習などを行い、視覚障害者についての理解を深める支援を行う。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	区立小学校訪問（平成 20 年度 1 校・平成 21 年度 6 校）や学級招待（平成 20 年度 1 校）を実施している。 校長会、学校担当者連絡会で点字図書館における点字学習などのプログラムを紹介した。 筑波大学附属視覚特別支援学校を訪問し、利用案内を行った。 区立図書館と共催で「夏休み子ども点字教室」を行い、点字学習・視覚障害者への理解に関する図書の紹介などを行った。 中学生の職場体験において点字シールの作成、視覚障害者へのガイドヘルパー体験を実施している。			
目 標	プログラムをPRし、学校訪問や学級招待の実施校を開拓する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
10月から12月の間に3校（池袋第2小、朋有小、富士見台小）に計4回訪問し、点字体験や点字図書館の紹介等を実施した。また、7月に「夏休みこども点字教室」を児童YAグループと共催した。		区内小学校2校（池袋第三小、富士見台小）を訪問し、点字体験を実施した。区外小学校1校の点字図書館見学を受け入れた。また、7月に「夏休みこども点字教室」を児童YAグループと共催した。		9月から11月の間に区内小学校3校を訪問し、点字体験や点字図書館の紹介等を実施した。また、8月に「夏休みこども点字教室」を児童YAグループと共催した。

第2章 読書活動のための啓発やPR【3項目】

2－1－8	事業名	点字図書館サービスのPR	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	点字図書館において、視覚障害のある子ども向けの点字図書館サービスについて、PRを積極的に行い、利用の促進を図る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	区立図書館のホームページ、「今月の本棚（点字図書館新着案内）」、広報紙等で点字図書館サービスのPRを行っている。			
目 標	新たにパンフレット（点字図書館サービスの利用案内）を作成し、保健所・家庭支援センターなどに設置するなど、PRの充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
実施内容を検討。 PRの方法、利用相談の対応の見直し等で検討。		サービス内容等の見直し予定。見直しが終了次第、利用案内を修正及びCD版の作成。		利用案内の修正確認等に時間を要したが、年度内に録音CD版が完成予定。

2－1－9	事業名	点訳版ブックリストの作成・配布	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	視覚に障害のある子どもに向けた点字によるブックリストを作成し、配布する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	—			
目 標	平成 22 年度に新たに点訳版ブックリストを作成・配布する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
小学 1・2 年生用点訳ブックリストを作成した。(「1-2-26 図書等の充実」とあわせて、実施内容を検討。)		3 月までに小学 3・4 年生用点訳ブックリストを作成予定。		今年度点字付き絵本を製作していることから、区立図書館発行のブックリストを基に年度内に読み聞かせ用の点訳ブックリストを着手・完成予定。

4 図書館課（点字図書館）

2－1－10	事業名	点字付き絵本とリストの作成・配布	所 管	図書館課 (点字図書館)
事業内容	点字付き絵本を製作し、そのリストを作成・配布する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	—			
目 標	点字付き絵本を増やし、新たに点字付き絵本のリストを作成・配布する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
実施内容を検討。（「1-2-26 図書等の充実」を参照。）		リスト作成に関しては、（「1-2-26 図書等の充実」を参照。）また、新規製作する場合の進行度合いと効果等から、他点字館との相互協力等による図書の提供やリスト作成方法等を検討していく。	点字付き絵本を2タイトル購入し、2タイトル製作中で年度内完成予定。ホームページ掲載する。	

5 文化デザイン課

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【5項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（5項目）

1－1－5	事業名	子どものための文化体験プログラムの実施	所 管	文化デザイン課
事業内容	将来の文化芸術を担う子どもたちの情緒をはぐくみ、想像力・創造性を養うため、アート系 NPO（※14）法人と協働して、子ども向けの本を題材とした演劇の制作・上演等、さまざまな分野の芸術家や専門家を講師とするワークショップ（※15）や各種体験プログラムを実施する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	にしすがも創造舎（旧朝日中学校）を文化芸術創造拠点として区と共に運営しているアート系 NPO 法人と協働で、子どもの本（平成 20 年度は「少年探偵団」、平成 21 年度は「ドリトル先生」）を題材にした演劇公演とそれに関連したワークショップを実施している。 また前述の施設で主に派遣型ワークショップを展開しているアート系 NPO 法人に委託し、保育園派遣型文化体験プログラムを毎年、区内保育園 10 園程度で実施している。			
目 標	子どものための文化体験の機会とプログラムをさらに充実し、実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
4 月～12 月末まで実施状況 ・子どもに見せたい舞台 vol. 6 子どもにも大人にもファンが多い児童文学の名作シリーズを題材にした「ドリトル先生と動物たち」の演劇公演をあうるすぽつとで実施した。 平成 24 年 8 月 10 日～16 日 7 日間 7 公演 入場者数 1,815 名 ・子どもに見せたい舞台関連レクチャー「ドリトル先生ってどんな人？～その謎と魅力に迫る！～」 平成 24 年 8 月 12 日 参加人数 50 名 ・ワークショップ「ぼくの本・わたしの本」で、本ができる過程の全てを自分の手で作り、オリジナルの本を完成させた。 平成 24 年 8 月 7～8 日 2 日間 参加人数 9 名 ・保育園派遣型ワークショップの実施 今年度から、保育園の他に希望する幼稚園でも実施した。 実施期間 平成 24 年 6 月 1 日～平成 24 年 11 月 1 日 区内保育園 14 園 区内幼稚園 2 園 参加園時数 727		4 月～12 月末までの実施状況 ・子どもに見せたい舞台 Vol.7 「星の王子さま」 平成 25 年 8 月 17 日～8 月 25 日 8 日間 9 公演 入場者数 2,267 名 ・関連レクチャー 『星の王子さま』の魅力 ～小惑星の旅でみつけたもの～ 平成 25 年 8 月 23 日 参加人数 85 名 平成 26 年 2 月～3 月実施予定 ・ワークショップ 高校に「星の王子さま」の演出家を派遣し、演劇ワークショップを行う ・保育園派遣型ワークショップの実施 区内保育園 16 園 参加園児数 延 786 名		4 月～12 月末までの実施状況 ・子どもに見せたい舞台 Vol.8 「マクベス」 平成 26 年 8 月 16 日～8 月 24 日 8 日間 10 公演 入場者数 2,254 名 ・鑑賞教室 名作を短時間で分かりやすく 3 人の役者が演じ分ける「よみしばい『きげきリア王』」 平成 26 年 8 月 19, 21, 26, 27 日 公演 4 回 参加人数 353 名 ・ワークショップ 「マクベス」等のアートディレクターが仕事の方法論を活かして行う「アーティストと遊ぼう！」40 名 ・保育園派遣型ワークショップの実施 区内保育園 16 園 参加園児数 延 929 名（見込み）

5 文化デザイン課

1－1－6	事業名	文化ボランティアの育成事業の開催	所 管	文化デザイン課 (指定管理へ移管)
事業内容	子育て中の保護者を対象に、俳優の視点から「絵本の読み聞かせ講座」を開催する。子どもに飽きさせず、本を読んで貰うことが楽しい体験となるような方法について、実践を交えながら紹介していく。 また豊島区立中央図書館の協力により、対象年齢にあった絵本の紹介もしてもらう。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	平成 20 年度には、「読み聞かせボランティア養成講座（全 8 回）」とその発表の場として「リーディングフェスティバル」を開催した。 平成 21 年度は「リーディング講座」を開催。「リーディングフェスティバル」は「にしすがもアート夏まつり’ 09」にて実施した。			
目 標	これまで「リーディング講座」「リーディングフェスティバル」により、水準の高い、文化ボランティアを育成して来たが、平成 25 度は家庭内で保護者による子どものための読み聞かせ技術の向上を目指す。また、適した絵本の紹介もする。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
24 年度は、区制施行 80 周年記念「文化創造都市推進シンポジウム」の連携事業として「リーディングフェスティバル」のみの実施とした。 4 月～12 月末まで実施状況 ・ 5 月 企画会議開始 ・ 8 月 広報としまにて概要告知、出場者募集告知（団体、個人） ・ 9 月末 出場者応募締切 ・ 11 月 出場者ガイダンス ・ 12 月 出場者テキスト配布 1 月～3 月末までの実施予定 ・ 1 月～2 月上旬フェスティバル出場者（団体、個人）の合同練習を 4 回実施予定 ・ 2 月 16 日午後から、会場はあうるすぽっとにて「としまのあゆみ つなごう、未来へのリレー」―ひびきあうところと声、劇場でつむがれる街の物語―と題してリーディングフェスティバルを実施予定。		「お母さんお父さんのための絵本読み聞かせワークショップ」 講師：ともさと衣（俳優） 豊島区立中央図書館員 平成 26 年 2 月 18 日(火) 0～2 歳児対象 2 月 19 日(水) 3～6 歳児対象 両日とも 13:00～15:30 会場：あうるすぽっと 会議室 B 始めに図書館担当者から、絵本を紹介。その後ワークショップを行う。 会場の後ろ半分にオープンな託児スペースを設置し、子どもと一緒に受講できる。	26 年度より文化ボランティアの育成事業はあうるすぽっと指定管理業務に移管	

5 文化デザイン課

1－1－8	事業名	郷土に関わる調べ学習への支援（レファレンス）	所 管	文化デザイン課 （郷土資料館）
事業内容	子どもたちや小・中学校からの郷土に関わるさまざまな質問に応える。 「とげ抜き地蔵」「鬼子母神」など各ジャンルに対応した、郷土に関する図書資料目録の作成を検討する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	電話や窓口における支援（レファレンス）を実施している。 郷土に関する調べ学習に利用できるよう豊島区のホームページ内に「郷土資料館・キッズページ」を公開している。			
目 標	郷土に関わる調べ学習に活用できるよう、子ども向け図書資料目録を作成する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
上記事業を随時実施。		上記事業を随時実施。		上記事業を随時実施。

1－1－9	事業名	郷土に関する図書資料の公開	所 管	文化デザイン課 (郷土資料館)
事業内容	郷土資料館の郷土に関する図書資料の保存・活用を推進するため、所蔵図書のデータベース化を進める。 インターネット上において、郷土資料館の図書資料データベースを公開していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	郷土資料館の所蔵図書資料のデータベース化に向け、システムを構築している。			
目 標	平成 26 年度、郷土資料館の所蔵図書資料のデータをインターネット上に公開する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
上記事業を随時実施。		上記事業を随時実施。		上記事業を随時実施。

5 文化デザイン課

1－1－10	事業名	郷土の子ども文化資料の作成支援	所 管	文化デザイン課 (郷土資料館)
事業内容	地域の昔遊びや豊島の子ども文化、昔話を調査・収集し、地域のボランティアの著作・出版活動を支援していく。 それらの資料を活用し、地域文化の伝承、普及に努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	雑司が谷ルネサンスの会が「絵本雑司が谷いろはかるた」を発行している。 地域のボランティア団体の要請により、支援を行っている。			
目 標	地域ボランティア団体への支援を行い、郷土の子ども文化資料作成の推進と地域文化の伝承・普及を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
上記事業を随時実施。		上記事業を随時実施。		上記事業を随時実施。

1－1－11	事業名	子どもに向けた郷土に関する図書資料の充実	所 管	文化デザイン課 (郷土資料館・ 雑司が谷旧宣教師館)
事業内容	豊島区の文化・歴史について子どもが学び、興味を抱けるよう、子どもに向けた郷土に関する図書資料の収集を推進する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども向けの郷土に関する図書資料を購入・寄贈等により収集している。 雑司が谷旧宣教師館では、「赤い鳥」(※18)等の資料も収集し、児童図書コーナーを設置している。			
目 標	子ども向けの郷土に関する図書資料の収集を推進し、充実を図る。 郷土資料館においては、平成 26 年度に計画されている施設移転に伴い、図書資料を適宜閲覧できるよう閲覧方法を検討する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
雑司が谷旧宣教師館で「赤い鳥」を語り継ぐおばあちゃんのおはなし会を実施。		雑司が谷旧宣教師館で「赤い鳥」を語り継ぐおばあちゃんのおはなし会を実施。		雑司が谷旧宣教師館で「赤い鳥」を語り継ぐおばあちゃんのおはなし会を実施。 図書資料の収集

6 学習・スポーツ課

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【1項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（1項目）

1－1－7	事業名	大人のための子どもの読書を考える講座の開催	所 管	学習・スポーツ課
事業内容	家庭教育に関する講座の一環として、保護者向けに子どもの読書活動を考えるきっかけとなるような講座を開催する。 講座の参加者である保護者や地域の方が講師となり、子どもと読書について考える講座を開催していけるような働きかけを行っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	「家庭教育学級（※17）・乳幼児コース」の中で絵本に関する講座を年1回開催している。 平成 20 年度は、区民の自主グループとの協働で実施した「家庭教育学級」において、子どもを持つ保護者が絵本を読み、楽しむことで、子どもの読書について考えた。 平成 21 年度には、区民の自主グループと区で共催している「区民企画運営講座」の1つとして「親子で一緒に絵本をよんでもらおう」を開催した。			
目 標	家庭教育に関する講座において、絵本や子どもの読書活動に関する講座を必ず組み入れていく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
実施なし。		「家庭教育学級・乳幼児コース」の中で【絵本の読み聞かせ】の実演や絵本の紹介をしながら、子どもと本を楽しむうえでのアドバイスをする講座を開催した。		「家庭教育学級・乳幼児コース」で、6月24日に【心でつながる♪親子の手遊び読み聞かせ講座】を実施し、楽しい絵本の読み聞かせを行った。

7 教育委員会（学校運営課・学校施設課・教育指導課）

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【5項目】

第3 学校における読書活動の推進（5項目）

重点事業 1－3－1	事業名	学校司書の配置の検討	所 管	教育指導課
事業内容	専門的な知識・経験を有する学校図書館担当事務職員（いわゆる「学校司書」）の配置について検討する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	司書教諭を小学校・中学校（小規模校を含む）全校に配置し、図書館担当教諭研修会を毎年開催している。			
目 標	学校司書（非常勤等）の配置を検討する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
1 3 校配置（小学校 1 0 校 中学校 3 校） 配置人数 7 名 （学校図書館司書 1 名が 2 校を兼務） 配置日数 原則として、週 2 日（1 日 6 時間） ※朋有小学校は、週 5 日配置 配置校 （小学校） 仰高小学校 巣鴨小学校 朋有小学校 朝日小学校 南池袋小学校 池袋第一小学校 池袋第二小学校 高松小学校 長崎小学校 千早小学校 （中学校） 駒込中学校 西巣鴨中学校 明豊中学校		全校配置 （小学校 2 3 校 中学校 8 校） 配置日数 3 週間で 4 日配置 1 日 6 時間	全校配置 （小学校 2 2 校 中学校 8 校） 配置日数 3 週間で 4 日配置 1 日 6 時間	

7 教育委員会（学校運営課・学校施設課・教育指導課）

重点事業 1－3－2	事業名	データベース化の検討	所 管	学校運営課
事業内容	本の検索、入手が容易になるように学校図書館蔵書のデータベース化及びインターネット環境の整備を検討する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	小学校 5 校、中学校 1 校で図書のデータベース化を実施した。			
目 標	蔵書データの蓄積・整理を行い、システムの設計と整備について検討を進める。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
全校データベース化のための作業を終了 システム設計の整備 13 校 (小学校 10 校 中学校 3 校) (小学校) 仰高小学校 巣鴨小学校 朋有小学校 朝日小学校 南池袋小学校 池袋第一小学校 池袋第二小学校 高松小学校 長崎小学校 千早小学校 (中学校) 駒込中学校 西巣鴨中学校 明豊中学校		学校図書館システムの導入 ・ 小学校 7 校・中学校 5 校 (計：小学校 17 校・中学校 8 校) 【26 年 1 月～実施予定】 ・ 小学校 5 校 平成 25 年度中に全 30 校（小学校 22 校・中学校 8 校）導入完了予定。		○ 学校図書館システムの運用 (全小学校 22 校・全中学校 8 校 計 30 校)

7 教育委員会（学校運営課・学校施設課・教育指導課）

重点事業 1－3－3	事業名	図書の整備・充実	所 管	学校運営課
事業内容	区立幼稚園及び小・中学校の図書購入費の増額などにより、図書の整備・充実を図る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	図書購入経費を増額し、区立幼稚園及び小・中学校図書館の図書の充実を図った。 学校図書標準（※）を満たした小・中学校の割合 20 年度末 42% （※小・中学校の規模に応じて国が定めた標準の蔵書数）			
目 標	区立幼稚園及び小・中学校の図書購入費の増額等により図書を整備・充実し、全小・中学校で学校図書標準を達成する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
各学校、学校図書標準の達成に向け、図書を購入するなど、全校データベース化に伴い、図書の整備充実を図っている。 学校図書標準を満たした小中学校の割合 平成 23 年度 3 月末 35.4% （小学校 8 校 中学校 3 校 計 11 校） ※平成 24 年度購入分については、現在、調査中。 ※全校データベース化に伴い、古い図書の廃棄が進んでいる。		全校データベース化に伴い、各学校、学校図書標準の達成に向け、図書の整備充実を図っている。 学校図書標準を満たした小中学校の割合 ・平成 24 年度末 38.7% （小学校 10 校 中学校 2 校 計 11 校） ※全校データベース化に伴い、古い図書の廃棄が進んでいる。		各学校、学校図書標準の達成に向け、図書の整備充実を図っている。 学校図書標準を満たした小中学校の割合 ・平成 25 年度末 32.3% （小学校 7 校 中学校 3 校 計 10 校） ※全校データベース化に伴い、古い図書の廃棄が進んでいる。

7 教育委員会（学校運営課・学校施設課・教育指導課）

1－3－5	事業名	障害のある児童・生徒に配慮した学校図書館	所 管	学校施設課
事業内容	障害のある児童・生徒に配慮した家具・備品の配置等、学校図書館のバリアフリー化に努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	南池袋小学校小学校 千歳橋中学校 明豊中学校			
目 標	学校の改修・改築に合わせて整備していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
24. 7 西池袋中学校 学校改築 (エレベータ設置)		該当改修なし	26.8 目白小学校 学校改築 (エレベーター設置)	
24. . 8 目白小学校 エレベ ータ設置済の仮校舎に移転				

7 教育委員会（学校運営課・学校施設課・教育指導課）

1－3－9	事業名	読書習慣の確立	所管	教育指導課
事業内容	「朝読書」「読書の時間」、学校独自の読書推進期間の設定などにより、学校活動における読書時間の確保に努める。 豊島区教育委員会推薦図書の普及啓発、区立図書館と連携した活動により、本との出会い、読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各校ごとに目標値を設定し、「朝読書」を実施している。 平成 19 年度に豊島区教育委員会推薦図書 120 冊を選定した。 平成 20 年度に e ラーニング・システムを活用した「読んでチャレンジななまる君の 120 冊」(※ 2 5)を開発し、全校のパソコン教室に設定した。 区立図書館と連携した読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク等の活動を各学校で推進している。 平成 22 年 1 月 24 日に「区立小・中学校読書フェスタ」を開催した。			
目 標	各学校の特色ある読書活動や区立図書館の職員による活動を一層推進するとともに、家庭との連携を図り、習慣的に読書する児童・生徒の割合を増加させる。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
全校で読書活動を実施。 (主な活動) ・朝読書や読書週間・読書旬間の設定。 ・図書委員会による読書紹介 ・「おすすめの本」紹介カードの作成・掲示 平成 21 年度より、「区立小中学校読書フェスタ」を区立図書館と連携して開催している。 平成 24 年度は、平成 24 年 11 月 4 日(日)に開催。 ・区立図書館から本の紹介 ・読書感想文コンクールの表彰・発表 ・各学校の読書活動・本の紹介 ・「おすすめの本紹介カードコンクール」表彰及び紹介 ・公演(群読)「本の世界へようこそ！」 区立図書館の図書ネット便の活用		全校で読書活動を実施。 (主な活動) ・校内での読み聞かせ活動 ・小・中学校の図書委員会による交流 ・読書クイズの掲示 「区立小中学校読書フェスタ」を区立図書館と連携して開催している。 平成 25 年 11 月 9 日(土)に開催。 ・区立図書館から本の紹介 ・読書感想文コンクールの表彰及び発表 表 ・各学校の読書活動・本の紹介 ・「おすすめの本紹介カードコンクール」表彰及び紹介 ・学校図書館司書による講演 区立図書館の図書ネット便の活用		全校で読書活動を実施。 (主な活動) ・校内での読み聞かせ活動 ・図書委員会による読書紹介 ・栄養士と連携した「お話給食」の実施 ・「図書館だより」の発行 「区立小中学校 RC フェスタ」を区立図書館と連携して開催している。 平成 26 年 11 月 8 日(土)に開催。 ・区立図書館から本の紹介 ・読書感想文コンクールの表彰及び発表 ・各学校の読書活動・本の紹介 ・「おすすめの本紹介カードコンクール」表彰及び紹介 ・読書活動と関連した英語活動の発表 区立図書館の図書ネット便の活用

8 幼稚園

第 1 章 子どもと本をつなぐ体制づくり【4項目】

第 3 学校における読書活動の推進（4項目）

重点事業 1－3－4	事業名	学校図書館の機能の強化	所 管	幼稚園
事業内容	学校図書館の機能を整備・充実し、幅広い情報検索に対応した「学習・情報センター」「読書センター」とする。 学校図書館の休み時間・放課後の利用開放、専門知識を有する専任職員の導入や図書委員会活動、学校図書館ボランティアの協力、区立図書館との連携強化により、学校図書館の利用をさらに促進する。 区立図書館からテーマに沿った図書の「団体貸出」を利用する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校の実態に応じて実施している。 各幼稚園・小学校では、ボランティア等を活用し、読み聞かせを実施している。			
目 標	学校図書館ボランティアの協力や区立図書館との連携強化により、授業はもとより、休み時間・放課後等における学校図書館の利用をさらに促進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・週 1 回行う絵本貸出とともに、年間 3 回以上の図書訪問で読み聞かせ、団体貸出を利用しながら、絵本に親しむ機会を広げることができた。 ・新しい絵本購入の機会や興味を拡大する機会として、図書館利用が役立っている。 ・また「ねっと便」は、すでに 3 回利用、行事・季節・図鑑等でとても活用しやすい。さらに興味が深くなった。		・週 1 回行う絵本貸出とともに、年間 3 回以上の図書訪問で読み聞かせ、団体貸出を利用しながら、引き続き、絵本に親しむ機会を広げている。 ・新しい絵本購入の機会や興味を拡大する機会として、図書館利用が役立っている。 ・「図書ねっと便」は、定期的利用している。行事・季節・図鑑等、園児の興味を広げるきっかけづくりとして活用しやすい。	・近隣図書館へ訪問（年 3 回以上）し、絵本を借りるとともに、読み聞かせを利用 ・保護者による絵本の読み聞かせ（月 1 回） ・園内絵本の貸し出し（週 1 回）	

8 幼稚園

1－3－6	事業名	図書館を活用する教師力の向上	所 管	幼稚園
事業内容	各学校・園において、幼児・児童・生徒の実状に沿った読書指導全体計画・年間指導計画に基づき、読書活動を推進していく。 教師間の連携による読書活動推進体制を整えるとともに、研修も充実させていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校において、年間指導計画に基づいて実施している。 区立図書館と連携し、研修や意見交換を行っている。 平成 21 年度には、区立小学校 1 校が図書の研究校として指定され、図書教育に関する研究を行った。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・古いが質の良い本とともに、新刊にふれることは、教員の教材研究に欠かせない。 ・近くの図書館に教員が足を運び、目的に合った教材を探せることが効果を上げている。 ・図書館の方々からも気軽に声をかけていただき、利用しやすい利点がある。		・引き続き、読書活動の推進を図っている。 ・質の良い本とともに、新刊にふれることは、教員の教材研究に欠かせない。 ・近くの図書館に教員が足を運び、目的に合った教材を探せることが効果を上げている。 ・図書館の方々からも気軽に声をかけていただき、利用しやすい利点がある。		・図書館を訪問（年 3 回以上）し、興味に応じた本を幼児が借りるとともに、教師も教材や活動に応じた本を借りている。 ・図書館訪問の日だけでなく、必要に応じて近隣図書館に出向き、借りる。 ・誕生会の時などに近隣図書館の職員を招聘し、読み聞かせや手遊びをしていただくことで、職員の方々の顔も覚え、より親しみやすい施設となっている。

8 幼稚園

1－3－7	事業名	在園児・保護者への図書貸出	所 管	幼稚園
事業内容	子どもや保護者が気軽に利用できる本のコーナーを整備・充実し、興味を引く展示を工夫して、幼児、保護者への図書の貸出を広げていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	園内での貸出を実施している。			
目 標	本のコーナーを充実し、在園児や保護者への図書貸出を継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・園内で実施する絵本読み聞かせの他に保護者による読み聞かせが充実している。 ・絵本は多くの図書館の中から保護者が選んでいる。また、保護者間で情報交換が行われ、良い絵本が受け継がれている。		・園内に図書のコーナーを設けている。多くの園児が気軽に本を手にとり、思い思いに本を広げている。 ・園内で実施する絵本読み聞かせの他に保護者による読み聞かせが充実している。 ・絵本は多くの図書館の中から保護者が選んでいる。また、保護者間で情報交換が行われ、良い絵本が受け継がれている。		・園内に絵本コーナーを設け、いつでも絵本に触れる機会を作っている。 ・週 1 回絵本を貸し出し、園児だけでなく、未就園児も気軽に絵本に触れる機会を作っている。 ・保護者による絵本の読み聞かせを月 1 回行い、読んでもらう心地よさ、聞いてもらう喜びを互いに味わっている。 ・読んであげる

8 幼稚園

1－3－8	事業名	読書ボランティアの連携	所 管	幼稚園
事業内容	保護者の自主サークルによる読み聞かせなどの活動の受け入れや、異なる年齢の子どもたちの読書活動交流の場として、小・中学生などによる幼児への読み聞かせにも取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	保護者による読み聞かせを実施している。（3 園） 中学生による職場体験など、連携して実施している。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・保護者による読み聞かせは、月 1 回実施している。 学年を越え、親睦の場、交流の場ともなっている。（保護者子育て支援） ・他にも、保護者有志のグループによるお話し会、パネルシアター、劇などの催し物を積極的に実施し、園児や保護者からも好評を得ている。		・引き続き、保護者による読み聞かせを実施している。学年を越え、親睦の場、交流の場ともなっている。（保護者子育て支援） ・保護者有志のグループによるお話し会、パネルシアター、劇などの催し物を積極的に実施し、園児や保護者からも好評を得ている。		・保護者による絵本の読み聞かせを月 1 回実施。降園時に行うため、全園児親子が対象であるとともに、読み聞かせの保護者は年間持ち回りのため、保護者同士の親睦の場にもなっている。内容としては、絵本だけでなく、紙芝居、手遊び、手品なども交え、園児は毎回楽しみにしている。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1項目】

2－1－2	事業名	保護者への啓発	所 管	幼稚園
事業内容	学校だよりなどの配布や保護者対象の読書活動啓発に関する講演会の開催などを通して、読書の意義を保護者に伝え、家庭における読書活動の推進を促す。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校・園の実態に応じて実施している。 保護者向けに有志による講座を実施している。（1 園） ブックリストや豊島区教育委員会推薦図書 120 冊のリストを全家庭に配布した。 「区立小・中学校読書フェスタ」を平成 22 年 1 月 24 日に開催した。			
目 標	同様な内容で保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・時期・目的に応じて、絵本の紹介をしている。 保護者からは、子どもの興味関心のようすなどの声も届いている。 ・家庭で読み聞かせをする際、子どもの様子や絵本について記録し、担任がコメントをする「絵本の記録」を通して、絵本の楽しさや、絵本の知識などを伝えていくようにしている。		・時期・目的に応じて、絵本の紹介をしている。保護者からは、子どもの興味関心の様子などの声も届いている。 ・家庭で読み聞かせをする際、子どもの様子や絵本について記録し、担任がコメントをする「絵本の記録」を通して、絵本の楽しさや、絵本の知識などを伝えていくようにしている。		・時期・目的に応じて、絵本の紹介をしたり、話題にしたりしている。保護者からは、子どもの興味関心の様子などの声も届いている。 ・家庭で読み聞かせをする際、子どもの様子や絵本について記録し、担任がコメントをする「絵本の記録」を通して、絵本の楽しさや、絵本の知識などを伝えていくようにしている。

9 小学校

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【5項目】

第3 学校における読書活動の推進（5項目）

重点事業 1－3－4	事業名	学校図書館の機能の強化	所 管	小学校
事業内容	学校図書館の機能を整備・充実し、幅広い情報検索に対応した「学習・情報センター」「読書センター」とする。 学校図書館の休み時間・放課後の利用開放、専門知識を有する専任職員の導入や図書委員会活動、学校図書館ボランティアの協力、区立図書館との連携強化により、学校図書館の利用をさらに促進する。 区立図書館からテーマに沿った図書の「団体貸出」を利用する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校の実態に応じて実施している。 各幼稚園・小学校では、ボランティア等を活用し、読み聞かせを実施している。			
目 標	学校図書館ボランティアの協力や区立図書館との連携強化により、授業はもとより、休み時間・放課後等における学校図書館の利用をさらに促進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・平成 24 年度から新たに学校図書館司書が 23 校中 13 校で配置となり、学習に合わせた図書の選定、季節ごとの本・新刊本の紹介、蔵書・新刊本のバーコード登録・廃棄本の除籍作業、新入生・転入・転出の児童の名簿追加変更、図書館だよりの発行等を行うことで、児童の読書環境を整えている。 ・学校図書館司書が図書の貸出・返却等のルールやマナー指導、十進分類法の児童へのオリエンテーション、休み時間の貸出・返却、図書整理・修理、図書購入のための計画立案・アドバイス、区立図書館への「団体貸出」の手続き、長期休業中の図書館の開館、全校児童への読み聞かせをも担当し、読書活動を推進している。 ・学校図書館の 1 階を「読書センター」とし、9 類、E 類の本を配架し、読書や読み聞かせのスペースとして活用し、2 階を「学習・情報センター」とし、主に 0 類から 8 類の図書を配架し、調べ学習や授業で活用している。（朋有小） ・学校図書館の隣室に「学習・情報センター」を設け、パソコンや調べ		・学校図書館司書が全校配置となった。 ・学習に合わせた図書の選定、季節ごとの本・新刊本の紹介、蔵書・新刊本のバーコード登録・廃棄本の除籍作業、新入生・転入・転出の児童の名簿追加変更、図書館だよりの発行等を行うことで、児童の読書環境を整えている。 ・学校図書館司書が図書の貸出・返却等のルールやマナー指導、十進分類法の児童へのオリエンテーション、休み時間の貸出・返却、図書整理・修理、図書購入のための計画立案・アドバイス、区立図書館への「団体貸出」の手続き、長期休業中の図書館の開館、全校児童への読み聞かせをも担当し、読書活動を推進している。 ・西巣鴨中学校ブロックが学校図書館の活用をテーマに研究を進め、3 月末にリーフレットを発行予定である。 ・従来の「読書センター」機能の向上に続き、「学習情報センター」の充実に向け、学校図書館の整備を進めている。・各教科・領域での学校図書館の活用が進んでいる。		○学校図書館司書の活用 ・新刊本のバーコード登録 ・児童名簿の追加・削除 ・新刊本の紹介（図書館だよりの発行） ・おすすめの本の紹介コーナーの維持管理 ・夏季休業中の開館 ・新入児童への読書活動指導ならびに図書館利用についてのオリエンテーション ・図書ボランティアの保護者と連携した読書活動推進のための環境整備 ・栄養士と連携し、物語で登場するメニューを給食で実際に提供するための支援 委員会活動への支援 ・調べ学習の際の学習相談 ・図書ボランティア（保護者）への技術指導、育成 ○保護者ボランティアの連携 ・各学級への読み聞かせ（週 1 回程度）

9 小学校

学習の資料等を置いて、幅広い情報を得る場としている。(高松小) ・学習情報リソースセンター（パソコン室と図書室の一体化）としての機能を強化するため、学校図書館司書とICT支援員との連携・打合せを実施している。(南池袋小) ・学期の初めに学校図書館司書、担当教諭、学校図書館ボランティアで連絡会を実施し、長期休業中に図書の配置換えをしている。(仰高小) ・学校図書館ボランティアから、休み時間の図書館開放、図書整理・修理、図書の貸出・返却、児童への読み聞かせ、掲示物の作成等の協力を得ている。 ・区立図書館の司書を招き、ブックトーク、紙芝居、読み聞かせ、ペープサートを行っている。(池袋第二小、椎名町小、高南小) ・校外学習、国語や社会、総合的な学習の時間等の調べ学習や、学級文庫で「団体貸出」を利用している。 ・地域の読み聞かせサークルと連携し、月に2回程度、放課後の読み聞かせを実施している。(仰高小)		・司書との連携により、図書館掲示の作成、図書の修繕 ○区立図書館との連携 ・図書ボランティアの保護者への研修会実施 ・学校参観週間時に全校お話を実施。区立図書館の活用について、保護者の啓発を図る機会にもしている。 ・団体貸し出しの活用（学級図書・調べ学習用資料） ○図書館活用を促進するための取組 ・各学年・学級ごとの貸し出し数データをもとに、各教員に啓発。 ・学校独自で選定した「〇〇小100冊」を活用し、読書記録を蓄積し、読破した児童を表彰している。 ・学習情報センターとしての活用を図るために、タブレットPCを常設し、作業スペースを設定している。 ・従来の図書館と廊下を挟んで向かい合わせの教室とを一体化させ、学習情報センターとしての機能強化を図るための環境改善・工夫をしている。
--	--	--

9 小学校

1－3－6	事業名	図書館を活用する教師力の向上	所 管	小学校
事業内容	各学校・園において、幼児・児童・生徒の実状に沿った読書指導全体計画・年間指導計画に基づき、読書活動を推進していく。 教師間の連携による読書活動推進体制を整えるとともに、研修も充実させていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校において、年間指導計画に基づいて実施している。 区立図書館と連携し、研修や意見交換を行っている。 平成 21 年度には、区立小学校 1 校が図書の研究校として指定され、図書教育に関する研究を行った。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・読書活動について、学校図書館司書が配置されている学校ではアドバイス等を受けながら、全体計画を作成し、それに基づいた読書活動の推進を行っている。 ・読書活動推進委員会を新たに設置し、図書館活用推進のための教員への研修会等を実施している。(朋有小)		・全区立小・中学校の学校図書館担当教諭に対して研修会を行った。実際の学校図書館を利用したことで、授業での活用や具体的な読書活動の推進のイメージが共有できた。 ・読書活動について、学校図書館司書が配置されている学校ではアドバイス等を受けながら、全体計画を作成し、それに基づいた読書活動の推進を行っている。		・図書担当の教諭が多くイベントを企画し、読書活動に帯ずる教員の意識を高めている。教員全員が読み聞かせをするイベントでは、児童が意欲的に活動する姿が見られ効果的だった。 ・全校朝会での教員による読み聞かせの実施。 ・月 1 回の図書館司書と図書担当教員との打ち合わせを行い、読書活動の推進について連携して取り組む体制を作っている。 ・読書活動や学校図書館活動の充実を図っている小学校の研究発表会等に参加し、情報収集と校内への伝達を図っている。

1－3－9	事業名	読書習慣の確立	所 管	小学校
事業内容	「朝読書」「読書の時間」、学校独自の読書推進期間の設定などにより、学校活動における読書時間の確保に努める。 豊島区教育委員会推薦図書の普及啓発、区立図書館と連携した活動により、本との出会い、読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各校ごとに目標値を設定し、「朝読書」を実施している。 平成 19 年度に豊島区教育委員会推薦図書 120 冊を選定した。 平成 20 年度に e ラーニング・システムを活用した「読んでチャレンジななまる君の 120 冊」(※ 2 5)を開発し、全校のパソコン教室に設定した。 区立図書館と連携した読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク等の活動を各学校で推進している。 平成 22 年 1 月 24 日に「区立小・中学校読書フェスタ」を開催した。			
目 標	各学校の特色ある読書活動や区立図書館の職員による活動を一層推進するとともに、家庭との連携を図り、習慣的に読書する児童・生徒の割合を増加させる。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・朝読書や読書週間の取組が全校で一層進み、読書量も増加傾向にある。 ・読書週間では、図書委員会の企画によるスタンプラリー（池袋第二小）、 チャレンジ読書カードへのスタンプ集め（朋有小）、 おすすめの本の紹介文の掲示（清和小）、 読書貯金カードへの記録（富士見台小）など、 学校独自の工夫が多々みられる。 ・「読書旬間」という名称で読書の期間を設けている学校もある。(西巣鴨小など) - 展覧会が開催する年度には、図書ボランティアが読み聞かせた本の記録を掲示している。(池袋第三小) ・学校独自に「〇〇小の 1 0 0 冊」を設けている学校もある。(池袋第一小、豊成小) ・区立図書館思慮による、図書館ボランティアへの講習会を実施している。(仰高小)		・朝読書や読書週間の取組が全校で一層進み、読書量も増加傾向にある。引き続き読書活動の推進を図っている。 ・平成 2 5 年度「区立小・中学校読書フェスタ」では、小学校 3 校が代表で日頃の活動の成果を発表することができた。		・朝読書の実施 ・読書月間、読書旬間の設定 自校で選定したおすすめの 本を目標に読破 読書マラソンカード、読書預金通帳など、読書記録を蓄積できるものを作成、活用。 ・児童間での読み聞かせ交流 6 年生が 1 年生へ。 図書委員会の児童による読み聞かせ おすすめの本の紹介交流

9 小学校

1－3－10	事業名	区立図書館における体験学習の実施	所 管	小学校
事業内容	「総合的な学習の時間」における体験学習の実施の際、区立図書館をその活動の場として積極的に活用し、児童・生徒の図書に対する理解を多面的に深める。 さらなる区立図書館、読書への興味につなげていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	児童では、職場インタビュー、一日図書館員を実施している。 生徒では、職場インタビュー、職場体験（地域区立図書館と中央図書館を体験）を実施している。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・各地域の区立図書館と連携し、実施している。 例として次にあげるようなものがある。 6 年の「総合的な学習の時間」に区立図書館を職場体験の受け入れ先として、体験活動を行っている。（仰高小） 2 年の生活科「まちたんけん」や公共施設を調べる学習、 3 年の社会科で区立図書館に行き、図書館利用サービスの内容の説明を受けている。（仰高小、清和小、豊成小、富士見台小など） 4 年が区立図書館が実施している点字体験教室に参加している。（富士見台小） 学校参観週間に区立図書館の職員によるブックトークを全学級で実施している。（千早小）		・各地域の区立図書館と連携し、実施している。		・地域の区立図書館を訪れ、施設見学・貸し出し返却の方法、ブックトークなど、体験学習を行っている。（2・3 年生） ・区立図書館職員による「調べる学習ガイダンス」を実施し、調べ学習に対する興味関心を高めることと、スキル向上を図っている。（5・6 年）

9 小学校

1－3－1 1	事業名	図書委員会活動の実施	所 管	小学校
事業内容	図書委員会活動において、生徒自らによる学校図書館の運営や、推薦本のリスト、図書室だよりの作成、異なる学年生徒への読み聞かせなどを行い、自主的、実践的な活動を通じて、読書活動の充実を図る。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校の実態に応じて実施している。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・各学校で休み時間を利用した図書の貸出・返却、図書整理、図書の修理、図書委員会だよりの発行等を行っている。 ・読書週間では図書委員による低学年の学級での読み聞かせ、推薦図書の紹介、ポスター・しおりづくり等を学校ごとに工夫している。 ・読書フェスタに参加し、図書委員会の活動を紹介している学校もある。 (西巣鴨小 池袋小 千早小)		・学校図書館司書と協力し、各学校で休み時間を利用した図書の貸出・返却、図書整理、図書の修理、図書委員会だよりの発行等を行っている。 ・読書週間では図書委員による低学年の学級での読み聞かせ、推薦図書の紹介、ポスター・しおりづくり等を学校ごとに工夫している。		・読書月間に読書集会を設定し、図書委員会が読み聞かせや新着図書の紹介、学習テーマに沿った本の紹介を行っている。 ・常時活動として、本の貸し出し・返却の手続き、本の整理、推薦図書のポスター作成を行っている。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1項目】

2－1－2	事業名	保護者への啓発	所 管	小学校
事業内容	学校だよりなどの配布や保護者対象の読書活動啓発に関する講演会の開催などを通して、読書の意義を保護者に伝え、家庭における読書活動の推進を促す。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校・園の実態に応じて実施している。 保護者向けに有志による講座を実施している。（1 園） ブックリストや豊島区教育委員会推薦図書 120 冊のリストを全家庭に配布した。 「区立小・中学校読書フェスタ」を平成 22 年 1 月 24 日に開催した。			
目 標	同様な内容で保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・多くの学校が年度の初めに図書館ボランティアの募集を行い、読み聞かせ、図書整理、放課後・長期休業中の図書館開放、掲示物の作成等と呼びかけ、協力を得ている。 ・学校だよりや学年だより、児童の書いた読書カードなどを通して、保護者に読書活動を推進している。 ・図書館通信を発行し、保護者へ読書活動を啓発している。（朋有小など） ・としま土曜公開授業などを活用し、家庭で不要になった図書を集め学年や学級文庫として本を整理している。（南池袋小）		・学校図書館司書を中心に、図書だよりを発行し、新刊本やお勧めの本の紹介を行っている。 ・学校だよりや学年だより、児童の書いた読書カードなどを通して、保護者に読書活動を推進している。		・図書館便りを発行し保護者へ読書活動を啓発している。 ・図書館ボランティアを募集し、図書整理、掲示物の作成、図書の修理など、協力を得ている。 ・読書カード等に、児童の読書活動について保護者から励ましの言葉をもらう欄を設定し、保護者と児童が共に読書活動に取り組めるよう工夫している。 ・学級文庫の入れ替えを保護者に協力していただいている。

10 中学校

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【5項目】

第3 学校における読書活動の推進（5項目）

重点事業 1－3－4	事業名	学校図書館の機能の強化	所 管	中学校
事業内容	学校図書館の機能を整備・充実し、幅広い情報検索に対応した「学習・情報センター」「読書センター」とする。 学校図書館の休み時間・放課後の利用開放、専門知識を有する専任職員の導入や図書委員会活動、学校図書館ボランティアの協力、区立図書館との連携強化により、学校図書館の利用をさらに促進する。 区立図書館からテーマに沿った図書の「団体貸出」を利用する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校の実態に応じて実施している。 各幼稚園・小学校では、ボランティア等を活用し、読み聞かせを実施している。			
目 標	学校図書館ボランティアの協力や区立図書館との連携強化により、授業はもとより、休み時間・放課後等における学校図書館の利用をさらに促進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・職業調べのための図書を地域図書館と連携して、生徒の実態に合わせて選定してもらい、集団貸出しをしてもらって活用した。(池袋) ・尾瀬移動教室及び修学旅行の事前学習に関する図書資料を集団貸出ししてもらい活用した。(池袋中 2 年生・3 年生) ・オープン図書室の利便性を活用し、常時「おすすめ本紹介コーナー」「今月の新刊本紹介コーナー」「今月のおすすめ本」(国語授業と連動し 1 1 月は古典)を展示している。(巣鴨北) ・長期休業日前に、おすすめ本を 1 0 0 冊以上テーブルに展示(平置き)した結果、貸出し数が増えた。(巣鴨北) ・新校舎において、図書室とパソコン教室を隣り合わせ、更に互いに行き来できるドアを取り付けた。(西池袋)		・学校図書館司書が全校配置となった。 ・学習に合わせた図書の選定、季節ごとの本・新刊本の紹介、蔵書・新刊本のバーコード登録・廃棄本の除籍作業、新入生・転入・転出の児童の名簿追加変更、図書館だよりの発行等を行うことで。児童の読書環境を整えている。 ・学校図書館司書が図書の貸出・返却等のルールやマナー指導、十進分類法の児童へのオリエンテーション、休み時間の貸出・返却、図書整理・修理、図書購入のための計画立案・アドバイス、区立図書館への「団体貸出」の手続き、長期休業中の図書館の開館、全校児童への読み聞かせをも担当し、読書活動を推進している。 ・西巣鴨中学校ブロックが学校図書館の活用をテーマに研究を進め、3 月末にリーフレットを発行予定である。 ・従来の「読書センター」機能の向上に向け、「学習情報センター」の充実に向け、学校図書館の整備を進めている。 ・各教科・領域での学校図書館の活用が進んでいる。		・学校図書館司書のさらなる活用(・行事に向けての事前学習のための参考図書の準備、環境整備。 ・新入生へのオリエンテーション、図書購入時の教師・生徒へのアドバイス、ポスター作成や館内の整備、読書推進のためにブックカバーの作成、PR 活動、長期休業中の図書館の開館、新刊本のバーコード登録、転出転入生徒の名簿管理) ・一年生の生徒を対象としたブックトークを実施した。 ・図書館以外の場所に第二図書館を設営し、生徒が本に親しみやすい環境を作った。

10 中学校

1－3－6	事業名	図書館を活用する教師力の向上	所 管	中学校
事業内容	各学校・園において、幼児・児童・生徒の実状に沿った読書指導全体計画・年間指導計画に基づき、読書活動を推進していく。 教師間の連携による読書活動推進体制を整えるとともに、研修も充実させていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校において、年間指導計画に基づいて実施している。 区立図書館と連携し、研修や意見交換を行っている。 平成 21 年度には、区立小学校 1 校が図書の研究校として指定され、図書教育に関する研究を行った。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・ 図書館担当の主幹教諭が新規採用教員を伴って、新着図書の買い付けに出かけ、本の選び方や購入方法について指導した。(池袋) ・ 学校だよりで学力調査のデータから読書指導の成果が上がっていることを、保護者、地域、教員にアピールし、更なる取組の活性化を促した。(池袋)	・ 全区立小・中学校の学校図書館担当教諭に対して研修会を行った。実際の学校図書館を利用したことで、授業での活用や具体的な読書活動の推進のイメージが共有できた。 ・ 読書活動について、学校図書館司書が配置されている学校ではアドバイス等を受けながら、全体計画を作成し、それに基づいた読書活動の推進を行っている。		・ 各教科の調べ学習と図書館の活用とをどう結びつけたら良いか、また、そのために図書館司書をどのように活用したら良いかに関する研修会を講師を招いて実施した。 ・ 学校司書に各教科の教科書を参照してもらい各教科の教員との連携を図った。 ・ 読書推進のため、各学校代表者にブックトークの研修を行う。	

1－3－9	事業名	読書習慣の確立	所 管	中学校
事業内容	「朝読書」「読書の時間」、学校独自の読書推進期間の設定などにより、学校活動における読書時間の確保に努める。 豊島区教育委員会推薦図書の普及啓発、区立図書館と連携した活動により、本との出会い、読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各校ごとに目標値を設定し、「朝読書」を実施している。 平成 19 年度に豊島区教育委員会推薦図書 120 冊を選定した。 平成 20 年度に e ラーニング・システムを活用した「読んでチャレンジななまる君の 120 冊」(※ 2 5)を開発し、全校のパソコン教室に設定した。 区立図書館と連携した読み聞かせ、ストーリーテリング、ブックトーク等の活動を各学校で推進している。 平成 22 年 1 月 24 日に「区立小・中学校読書フェスタ」を開催した。			
目 標	各学校の特色ある読書活動や区立図書館の職員による活動を一層推進するとともに、家庭との連携を図り、習慣的に読書する児童・生徒の割合を増加させる。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・職員室前にミニライブラリーを設置し、生徒が図書に触れる機会を増やしている。 (池袋中学校) ・読書記録をつけさせ、一人一人の読書したページ数を集計し、図書室だよりで学年ごとの平均ページ数や上位者を紹介する取組を行った。 (池袋) ・小中連携教育の一環として、生徒が近隣の小学校に行き、本の紹介と読み聞かせを行った。(池袋中学校) ・年 2 回(6 月、1 1 月)、読書啓発期間として、読書週間を実施した。なお、6 月は教師による読み聞かせを行った。(巣鴨北中学校) ・読書フェスタに合わせ「紹介カード」を全校生徒が書き、校内展示を行う。 (全校) ・国語の授業で、各学期 2 回のブックトークを行わせている。(巣鴨北中学校)		・朝読書や読書週間の取組が全校で一層進み、読書量も増加傾向にある。引き続き読書活動の推進を図っている。 ・平成 2 5 年度「区立小・中学校読書フェスタ」では、小学校 3 校が代表で日頃の活動の成果を発表することができた。		・「卒業までに一万ページ突破」を目指して、全校生徒に読書記録を記入させている。各学期に 1 回ずつ記録を点検し、図書室だよりで発表したり、表彰したりする。学年末には記録証を渡している。 ・職員室前に設置されている主事の手製本棚は「寄贈本コーナー」として教員や地域から寄せられた 5 0 0 冊を超える本が置かれ、自由にノートに記名して借りられるようにした。 ・全校生徒が本の紹介カードを記入し、全作品が図書室や廊下に掲示されている。 ・国語ノートに貼られた読書記録カードをもとに各学期に読書冊数、推薦本のアンケートを行い、図書便りで集計結果を発表している。 ・国語の授業ないで朝の読書で読んだ本のブックトークを実施している。

10 中学校

1－3－10	事業名	区立図書館における体験学習の実施	所 管	中学校
事業内容	「総合的な学習の時間」における体験学習の実施の際、区立図書館をその活動の場として積極的に活用し、児童・生徒の図書に対する理解を多面的に深める。 さらなる区立図書館、読書への興味につなげていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	児童では、職場インタビュー、一日図書館員を実施している。 生徒では、職場インタビュー、職場体験（地域区立図書館と中央図書館を体験）を実施している。			
目 標	継続して実施していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 2 年生において、区内図書館で職場体験を 3 日～4 日行っている。（全校） ・ 1 年生において、職場訪問を 30 分ほど実施している。（西池袋中学校）		・ 各地域の区立図書館と連携し、職場体験を実施している。		・ 中央図書館での 3 日間の職場体験を実施している。

10 中学校

1－3－11	事業名	図書委員会活動の実施		所 管	中学校
事業内容	図書委員会活動において、生徒自らによる学校図書館の運営や、推薦本のリスト、図書室だよりの作成、異なる学年生徒への読み聞かせなどを行い、自主的、実践的な活動を通じて、読書活動の充実を図る。				
推 進 計 画					
平成 21 年度 末までの状況	各学校の実態に応じて実施している。				
目 標	継続して実施していく。				
実 施 状 況					
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
・読書週間におすすめの本を載せたポスターを作成し掲示した。また、期間中に本を借りた人にしおりや絵はがきをプレゼントする取組を行った。(池袋中学校) ・図書委員会の目標を「全校生徒に本を好きになってもらおう」とし、学級文庫の選定やオープン図書室の環境整備を行っている。(巣鴨北中学校)		・学校図書館司書と協力し、各学校で休み時間を利用した図書の貸出・返却、図書整理、図書の修理、図書委員会だよりの発行等を行っている。 ・読書週間では図書委員による低学年の学級での読み聞かせ、推薦図書の紹介、ポスター・しおりづくり等を学校ごとに工夫している。		・学級文庫として図書委員おすすめの本10冊を教室置きにし、委員会の度に入れ替えを行っている。 ・しおりを作成し本を借りた人にプレゼントしている。 ・文化祭の舞台発表で図書委員によるおすすめの本の紹介を行った。また、各学年でよく本を読んでいる人を紹介した。 ・全校に呼びかけ、昼休みにおすすめの本の読み聞かせを行った。 ・学期に一度、図書委員会全員が全校朝礼の時間を利用してブックトークを行っている。変装したり小道具やパワーポイントを使ったりしながら10冊程度の本を紹介し、図書館にその本をまとめて展示している。 ・本にブッカーをつけ、生徒用に和紙でカバーやしおりを作ったり、朝読書用のクラス設置本を毎月選んで入れ替えたり、ポスターやポップを作成し校内に掲示したりしている。	

第2章 読書活動のための啓発やPR【1項目】

2－1－2	事業名	保護者への啓発	所 管	中学校
事業内容	学校だよりなどの配布や保護者対象の読書活動啓発に関する講演会の開催などを通して、読書の意義を保護者に伝え、家庭における読書活動の推進を促す。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各学校・園の実態に応じて実施している。 保護者向けに有志による講座を実施している。（1 園） ブックリストや豊島区教育委員会推薦図書 120 冊のリストを全家庭に配布した。 「区立小・中学校読書フェスタ」を平成 22 年 1 月 24 日に開催した。			
目 標	同様な内容で保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・保護者会や新入生説明会において、校長のあいさつや担当教諭の説明の中で、家庭での読書活動について、取り組みをお願いしている。 ・学校だよりや学年だよりなどで、心の成長・学力の向上において読書の占める重要性について説明する内容を載せるようにした。		・学校図書館司書を中心に、図書だよりを発行し、新刊本やお勧めの本の紹介を行っている。 ・学校だよりや学年だより、児童の書いた読書カードなどを通して、保護者に読書活動を推進している。		・図書便りを月に一度の割合で発行し、新刊本や人気本の紹介、図書委員や生徒からの推薦本、読書冊数の多い生徒の紹介など、多くの情報を発信できるようにしている。 ・学期ごとに各学年の読書量ベスト 10 や生徒たちがよく読んでいる本を載せた便りを発行し、保護者への啓発を行っている。 ・4 月に寄贈図書を呼びかけ、保護者の読書指導への協力を呼びかけている。 ・新入生保護者説明会において、朝読書の取り組みを紹介し、読書の意義を伝えている。

1 1 池袋保健所（健康推進課）・長崎健康相談所

第 1 章 子どもと本をつなぐ体制づくり【2 項目】

第 4 保育園・区民ひろば等における読書活動の推進（2 項目）

（2）池袋保健所・長崎健康相談所

1－4－4	事業名	絵本コーナーの充実	所 管	池袋保健所（健康推進課） 長崎健康相談所
事業内容	ロビーや待合室に、健診や相談事業の待ち時間等に利用できる絵本コーナーを設置する。また、乳幼児健診時には図書館が作成しているブックリスト「ねえ、よんで」に載っている絵本のセットを用意し、長く読み継がれている良質の絵本を気軽に手に取れる場を、図書館と連携して提供していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ロビーや待合室に、利用者が自由に手にとれるような絵本コーナーを常設している。 各種健診や育児相談の時には、絵本セット用のワゴンを用意し、配置している。 1 歳 6 か月児健診では、図書館職員による絵本紹介のコーナーを設置している。			
目 標	利用者がより気軽に利用できるよう絵本コーナーの充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
(健康推進課) ・待合室に、絵本コーナーを設置し、健診や相談事業の待ち時間に絵本が読めるようにしている。 ・絵本コーナーには、図書館が作成しているブックリスト「ねえ、よんで」に載っている絵本を用意している。 (長崎健康相談所) ・1 歳 6 か月児健診での絵本紹介コーナーでは、図書館職員がお勧めの本を展示・紹介している。		(健康推進課) ・待合室に、絵本コーナーを設置し、健診や相談事業の待ち時間に絵本が読めるようにしている。 ・絵本コーナーには、図書館が作成しているブックリスト「ねえ、よんで」に載っている絵本を用意している。 (長崎健康相談所) ・引き続き、1 歳 6 か月児健診での絵本紹介コーナーでは、図書館職員がお勧めの本を展示・紹介している		(健康推進課) ・待合室に、絵本コーナーを設置し、健診や相談事業の待ち時間に絵本が読めるようにしている。 ・絵本コーナーには、図書館が作成しているブックリスト「ねえ、よんで」に載っている絵本を用意している。 (長崎健康相談所) ・引き続き、1 歳 6 か月児健診での絵本紹介コーナーでは、図書館職員がお勧めの本を展示・紹介している

(8) その他

1－4－20	事業名	施設職員間の連携	所 管	池袋保健所（健康推進課） 長崎健康相談所
事業内容	本のコーナーの整備や積極的に読書を取り入れた事業を計画するなど、施設の職員が連携して、施設全体で読書活動を推進する体制づくりに努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ロビーや待合室に、利用者が自由に手にとれるような図書コーナーを常設。各種健診や育児相談の時には絵本用のワゴンを出している。（健康推進課・長崎健康相談所） 職員会議等で、読み聞かせなどの本に関する事業や本のコーナーの充実等を検討したり、本に関する情報交換を実施している。（区民ひろば・子どもスキップ・児童館・保育園） お勧め絵本の紹介読書コーナーにお勧め本の展示をし、メールマガジンにリストとして掲載し、様々な職種の職員が研修で得た情報を職員会議で共有している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員間の連携の充実を図っていく。 読書を取り入れた事業や本のコーナーの充実のため、区立図書館との連携を推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
(健康推進課・長崎健康相談所) ・絵本の補充については、図書館リサイクル本を活用している。 ・両親学級（パパママ準備教室）において、図書館職員による絵本の読み聞かせを実演し、読み聞かせの心地よさを参加者に体験してもらっている。		(健康推進課・長崎健康相談所) ・絵本の補充については、図書館リサイクル本を活用している。 ・両親学級（パパママ準備教室）において、図書館職員による絵本の読み聞かせを実演し、読み聞かせの心地よさを参加者に体験してもらっている。		(健康推進課・長崎健康相談所) ・両親学級（パパママ準備教室）において、図書館職員による絵本の読み聞かせを実演し、読み聞かせの心地よさを参加者に体験してもらっている。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1項目】

2-1-11	事業名	乳幼児・幼児向けブックリストの配布	所 管	池袋保健所（健康推進課） 長崎健康相談所
事業内容	乳幼児が初めて出会う本、図書館で作成している 0～2 歳児向けブックリスト「ねえ、よんで」を赤ちゃん訪問や 1 歳 6 か月児健診時に配布する。 3 歳児健診では、「ねえ、よんで」のほか、様々な発達段階に応じるため、3～6 歳児向けブックリスト「ほんのしまとしま」等も用意し、配布する。 図書館と連携して、必要に応じて図書館等関係機関に引き継いでいく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	赤ちゃん訪問と 1 歳 6 か月児健診で「ねえ、よんで」を配布している。 3 歳児健診では、「ねえ、よんで」と「ほんのしまとしま」を配布している。 健康推進課および長崎健康相談所の窓口に各種ブックリストを設置し、希望者に配布している。			
目 標	引き続き健康推進課および長崎健康相談所でブックリストを配布していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
（健康推進課） ・1 歳半健診にて「ねえ、よんで」を配布している。 ・3 歳児健診時に「ほんのしまとしま」をパンフレット台に設置し、ご自由にお持ちいただくようにしている。 （長崎健康相談所） ・1 歳 6 か月児健診の絵本紹介コーナーで、直接親子で絵本を手にしたり、「ねえ、よんで」を配布している。 ・3 歳児健診時に「ほんのしまとしま」を配布している。 （健康推進課・長崎健康相談所） ・保健所の実施する赤ちゃん訪問で、ブックリスト「ねえ、よんで」を配布し、乳児期からの絵本や図書館の利用を勧めている。		（健康推進課） ・1 歳半健診にて「ねえ、よんで」を配布している。 ・3 歳児健診時に「ほんのしまとしま」をパンフレット台に設置し、ご自由にお持ちいただくようにしている。 （長崎健康相談所） ・1 歳 6 か月児健診の絵本紹介コーナーで、直接親子で絵本を手にしたり、「ねえ、よんで」を配布している。 ・3 歳児健診時に「ほんのしまとしま」を配布している。 （健康推進課・長崎健康相談所） ・保健所の実施する赤ちゃん訪問で、ブックリスト「ねえ、よんで」を配布し、乳児期からの絵本や図書館の利用を勧めている。		（健康推進課） ・1 歳半健診にて「ねえ、よんで」を配布している。 ・3 歳児健診時に「ほんのしまとしま」をパンフレット台に設置し、ご自由にお持ちいただくようにしている。 （長崎健康相談所） ・1 歳 6 か月児健診の絵本紹介コーナーで、直接親子で絵本を手にしたり、「ねえ、よんで」を配布している。 ・3 歳児健診時に「ほんのしまとしま」をパンフレット台に設置し、ご自由にお持ちいただくようにしている。 （健康推進課・長崎健康相談所） ・保健所の実施する赤ちゃん訪問で、ブックリスト「ねえ、よんで」を配布し、乳児期からの絵本や図書館の利用を勧めている。

12 子ども課

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【10項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（1項目）

1－1－12	事業名	地域の読書ボランティアによるおはなし会等の開催	所 管	子ども課 (子どもスキップ・児童館)
事業内容	地域で活動している読書ボランティア（読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行う）と協力して、おはなし会等の各種読み聞かせ活動を実施する。 地域で活動している読書ボランティアの活動を受け入れ、育成のサポートをしている。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	各施設で地域ボランティアによるおはなし会やお話作り等を組み込んだ事業を開催している。 「放課後子ども教室」の事業として、地域ボランティアの読み聞かせを実施している。			
目 標	地域の読書ボランティアに活動の場を提供し、読書ボランティアの育成と活動を推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・放課後や行事、学校休業日などの時間に、地域ボランティアの方々が読み聞かせの会を実施している。 ・毎月 1 回、ボランティアの方が、読み聞かせ・紙芝居・手あそび・パネルシアター・素話の活動をしている（千早児童館）		・各施設、設定状況や回数は異なるが、昨年同様、地域の方々による読み聞かせをを継続している。 ・当該小学校、保護者ボランティア読み聞かせの集いに毎月引率し、参加している。（仰高・駒込） ・長期学校休業日に、図書館の職員やボランティアの派遣を依頼、読み聞かせ、紙芝居、パネルシアターを実践した。（朝日・池袋三） ・月 1 回、私立保育園の職員が小学生対象に読み聞かせを実施している。（千早児童館） ・保護者からの申し出で、学童クラブ帰りの会での読み聞かせを実施予定。（南池袋）		・毎月 1 回、放課後子ども教室の事業として読み聞かせボランティアによる絵本・紙芝居の読み聞かせを実施している。（要・椎名町・高松） ・夏まつりで地域・保護者のボランティアの読み聞かせを実施している。（椎名町・南池） ・紙芝居文化推進協議会の方や大学生の児童文化研究会によるおはなしの会や行事の中で、職員による絵本・す話を行っている。（椎名町） ・当該小学校保護者ボランティア PTA 紙芝居の声かけをしている。（駒込） ・学校休業日に、図書館の職員やボランティアの派遣を依頼、読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・工作を実施した。（富士見台・駒込・池一・池三・朋有・巣鴨）

第4 保育園・区民ひろば等における読書活動の推進（9 項目）

（3）児童館

1－4－5	事業名	絵本に触れる機会の充実	所 管	子ども課 (児童館・ジャンプの子育てひろば)
事業内容	乳幼児プログラム等において、絵本・紙芝居・パネルシアター等を利用しておはなしに親しむ活動を行ない、想像や知識の世界への興味・関心を高めて、想像力を育む機会を作っていく。 絵本を通じて楽しく子育てができるように、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び・ふれあい遊び等も乳幼児プログラムに取り入れていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児プログラムにおいて、絵本の読み聞かせ等を取り入れている。 年間を通して日常的に絵本の読み聞かせ等を全館で実施している。			
目 標	絵本に触れる機会の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・児童館では、毎日絵本の読み聞かせを実施、また、毎週定期的に乳幼児プログラムで、パネルシアター、わらべうた、手遊びを実施している。 ・日本古来の季節行事の際には、をパネルシアター、ブラックシアターで実施している		・児童館は、昨年同様継続して実施している。(目白は実施無し) ・ジャンプ長崎では、希望があれば、絵本や紙芝居の読み聞かせを実施している。		・乳幼児プログラム以外に月 1 回小学生対象、絵本や紙芝居・パネルシアターの読み聞かせを実施している。(千早) ・絵本の読み聞かせを実施しているが、グループでの利用が増えたため絵本の読み聞かせの機会は減っている。(ジャンプ長崎)

1－4－6	事業名	読書の楽しさを伝える事業の実施	所 管	子ども課 (児童館の学童クラブ)	
事業内容	地域ボランティアとも協力して、読み聞かせやストーリーテリングなどを行うおはなし会を開催する。 「放課後対策事業」で実施する講座に、子どもの読書に関わる講座を設けていく。				
推 進 計 画					
平成 21 年度 末までの状況	施設の事業として地域ボランティアの協力によるおはなし会を開催している。 学童クラブ独自の事業として読み聞かせを実施している。				
目 標	読書の楽しさを伝える事業を各施設で継続的に実施する。				
実 施 状 況					
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
・夏休みのお楽しみとして、昔話・怪談など読み聞かせを帰りの会やお楽しみ会の中で実施している		・学童クラブでは、夏休みの休憩時間、お楽しみ会、通常の帰りの会などで、読み聞かせや紙芝居を実施している。読み手は職員だけではなく、児童が自主的に絵本や紙芝居を選択して読み聞かせを実施している。 ・学童クラブでは、宿題が終わった児童には、本や絵本を読むことも促している。 ・週 1 回、読み聞かせや落語等を実施している。読み聞かせにより、話の情景をイメージできるようにしている。(高松) ・当該校の「読書 PJ」に参加し、「調べ学習」設置にあたり、書籍の選定の話し合いや学習室本棚などの設置などの手伝いをした。(巣鴨)		・学童クラブでは、児童には、本や絵本を読むことも促している。 ・学童クラブでは、夏休みの休憩時間や通常の帰りの会などで、読み聞かせや紙芝居を実施している。	

12 子ども課

1－4－7	事業名	読書コーナーの充実	所 管	子ども課（児童館）
事業内容	日常的にいつでも誰でもが気軽に本を読むことができるように読書コーナーを設置し、さまざまな本や雑誌に触れられる機会を増やすため、蔵書を充実させる。その際、多様な読者の必要に応え、乳幼児向けの絵本や紙芝居・保護者向けの育児書・本を読み慣れない子どもでも親しみが持てくつろげるようなマンガやコミック誌などを含めた幅広いジャンルを取り入れるなど、蔵書構成に配慮する。 区立図書館の団体貸出を活用して、子どもに魅力のある本や長く読み継がれている良質の本を充実させる。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	図書の購入にあたっては、「子ども会議」であがった子どもたちの意見を取り入れ、自由に利用できて本に親しめるように工夫した図書コーナーを設置しており、マンガ以外の図書や紙芝居の貸出を実施している。 各施設の事業の教材として、区立図書館の団体貸出を活用している。			
目 標	各施設ごとに継続的に読書環境の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・各施設、「子ども会議」で子ども達の意見を取り入れて本の購入を行い、興味関心を満足させ、関心を深めている。 ・本に親しめ、くつろげるようコーナーの整備を定期的実施している。 ・区立図書館の団体貸出を利用し、幅広いジャンルの本を充実させている。		・昨年度同様、継続して実施している。		・昨年同様、継続して実施している。

12 子ども課

1－4－8	事業名	子育て情報図書等の収集・提供	所 管	子ども課 (スキップ・児童館)
事業内容	子育てしている保護者にとって、くつろぎながらも子育ての情報を得たり、学ぶことのできる、身近な施設であるため、保護者向けの家庭・育児雑誌を用意する。 区内の子育てに関する新しい情報図書等が身近で手に取れる情報コーナーを設置する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子育て情報誌や家庭・教育雑誌を購入・寄贈等により収集し、子育てに関する情報図書等コーナーを設置している。			
目 標	子育て情報図書等の収集・提供の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・子育て情報誌、家庭・教育情報誌などを購入し、くつろぎながら情報収集したり学んだりできるように図書コーナーを設置している。	・児童館では、昨年同様、継続して実施している。 ・スキップでは、玄関など保護者の目に留まる場所に、子育て情報誌などを書架に置いている。また、情報提供ポスターなども掲示している。		・児童館・スキップでは、昨年同様、継続して行っている。(椎名町) ・保護者会などで育児雑誌や推薦図書を紹介し、希望者には貸し出しをする。(高南) ・保護者の目のとまる所に、情報雑誌などを設置し、子育て情報など提供できるようにしている。(長崎・池一) ・当該校の「読書PJ」に参加し、「調べ学習」設置後、書籍の配置や書籍選定の話し合いに参加した。また、図書館環境についての意見交換を行った。(巣鴨)	

(4) 子どもスキップ

1－4－9	事業名	読書の楽しさを伝える事業の実施	所 管	子ども課 (スキップの学童クラブ)
事業内容	地域ボランティアとも協力して、読み聞かせやストーリーテリングなどを行うおはなし会を開催する。 「放課後対策事業」で実施する講座に、子どもの読書に関わる講座を設けていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	施設の事業として地域ボランティアの協力によるおはなし会を開催している。 「放課後子ども教室」でもおはなし会を実施している。 学童クラブ独自の事業として読み聞かせを実施している。			
目 標	読書の楽しさを伝える事業を各施設で継続的に実施する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・夏休みには「子ども達がい ろいろな本と出会い、楽しい ひとときが過ごせるおはなし 会」充実させるといことで、 読み聞かせボランティアが毎 回テーマを変えて、おはなし 会を定期的に実施した。 ・巣鴨小学校の読書活動推進 のための「読書 P J」(定期的) 参加し、実践活動の 1 つとし て 1 0 月にスキップの職員に よる読み聞かせ・パネルシア ターを実施した。(子どもスキ ップ巣鴨)		・各施設、設定状況や回数は異 なるが、昨年同様、地域の方々 による読み聞かせをを継続し ている。 ・当該小学校、保護者ボラン ティア読み聞かせの集いに毎月 引率し、参加している。(仰高・ 駒込) ・長期学校休業日に、図書館の 職員やボランティアの派遣を 依頼、読み聞かせ、紙芝居、パ ネルシアターを実践した。(朝 日・池袋三) ・月 1 回、私立保育園の職員が 小学生対象に読み聞かせを実 施している。(千早児童館) ・保護者からの申し出で、学童 クラブ帰りの会での読み聞か せを実施予定。(南池袋)		・毎月、放課後子ども教室の事業と して地域・保護者のボランティアの 読み聞かせを実施している。 (椎名町・要) ・紙芝居文化推進協議会の方の読み 聞かせや、大学生児童文化研究会に よるお話し会、職員による絵本・す話 (季節・伝承)を行事の際実施してい る。(椎名町) ・夏休みの休息時間や、日々の帰り の会の中で、職員や子ども達による 絵本・紙芝居の読み聞かせを適宜実 施している。(椎名町・要・朋有・ 朝日・駒込・長崎) ・地域の方々による読み聞かせを継 続している。(長崎・池袋) ・学校休業日に、図書館の職員の派 遣を依頼、読み聞かせ、紙芝居、パ ネルシアターを実践した。(朝日・高 南・池一・池三・長崎) ・学童クラブでは、宿題が終わった 児童には、本や絵本を読むことも促 している。(朝日・駒込・長崎) ・図書館から本を借りてきて、図書 館の本のコーナーを設置している。 (池袋・池三) ・図書館より本を借り読み聞かせに 活用している。(池一・駒込)

1－4－10	事業名	読書コーナーの充実	所 管	子ども課（スキップ）
事業内容	日常的にいつでも誰でもが気軽に本を読むことができるようにし、さまざまな本や雑誌に触れられる機会を増やすため、蔵書を充実させる。その際、多様な読者の必要に応え、本を読み慣れない子どもでも親しみが持てくつろげるようなマンガやコミック誌などを含めた幅広いジャンルを取り入れた本棚作りを行う。 区立図書館の団体貸出を活用して、子どもに魅力のある本や長く読み継がれている良質の本を充実させる。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	図書の購入にあたっては、「子ども会議」であがった子どもたちの意見を取り入れ、自由に利用できて本に親しめるように工夫した図書コーナーを設置している。 雨天時等には学校図書館を利用する機会を設けている。			
目 標	各施設ごとに継続的に読書環境の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・気軽に手に取り、読むことができるような図書コーナーにするため、子どもの興味関心のある本の希望意見を取り入れ購入している。 ・リラックスして、好きな本が読めるよう図書コーナーの整備を定期的に行っている。 ・区立図書館の団体貸出を定期的に利用し、季節もの、読んで欲しい本など充実を図っている。		・各施設、図書購入は「子ども会議」やアンケートなどで希望を把握、選定しながら幅広いジャンルを考慮、興味関心を深めている。 ・くつろぎながら本を楽しめる読書コーナーの整備を定期的に行っている。 ・区立図書館の団体貸出を利用して、幅広いジャンルの本の提供を実施している。		・「子ども会議」で子ども達の意見を取り入れて本の購入を行い、興味関心を満足させ、関心を深めている。 ・本に親しめ、くつろげるようコーナーの整備を定期的に行っている。（要・高南・池三・長崎） ・図書購入は「子どもの声」やアンケートなどで希望を把握、選定しながら幅広いジャンルを考慮、興味関心を深めている。（朝日・巣鴨・朋有）

(5) ジャンプ（中高生センター）

1－4－11	事業名	読書コーナーの充実	所 管	子ども課（ジャンプ）
事業内容	気軽に多くの情報にふれる機会を増やすため、本や雑誌、中高生向け情報等、手に取れる読書コーナーを設置している。 本を読み慣れない子どもをはじめ、さまざまな子どもの必要に応えるため、マンガやコミック誌等、新鮮で親しみやすいジャンルにも配慮し、幅広く魅力ある本棚を、中高生と共に作っていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	コミック・音楽・スポーツ等幅広いジャンルにわたる図書の読書コーナーを設置している。			
目 標	読書コーナーの充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・コミック、音楽、スポーツなど、子ども達の要望、関心が高い月刊誌を定期的に購入し、読書コーナーに並べる。 ・話題の小説、読んで欲しい小説などは、目立つ所にディスプレイしたり、内容をピックアップして「読んでみたい」と思えるような工夫をしている。 ・平成 24 年度より開設したジャンプ長崎では、これまでの図書コーナーに加え新に学習室を開設し、静かな環境の中で読書や試験勉強などができるようにした。	・コミック、音楽、スポーツなど、利用者アンケートや中高生の要望を参考に、関心が高い月刊誌を定期的に購入し、読者コーナーに並べている。（東池袋・長崎） ・8 月（テーマ イマドキの学園生活）と 12 月（テーマ 青春の光と影）に中央図書館の特集展示をしている。（東池袋・長崎） ・図書館の団体貸出を利用して、毎月話題の小説、読んで欲しいエッセーなどを目立つ所にディスプレイしたり、内容をピックアップして「読んでみたい」と思えるような工夫をしている。（長崎） ・平成 24 年度より開設したジャンプ長崎では、図書コーナーに加え新に学習室を開催し、昨年同様、継続している。		・「利用者会議」「利用者アンケート」「意見コーナー」等を通じて、中高生の意見要望を参考に、音楽・スポーツ・コミックなど関心の高い月刊誌を定期的に購入し、図書コーナーに展示している。 ・新刊など展示に「内容の概要」「目立つディスプレイ」など、中高生が「読んでみたい」と思える工夫をしている。 ・10 月・11 月に中央図書館の特集展示に、「学校生活」「恋愛」に関する中高生の意識調査（アンケート）を実施し、集計結果とともに展示している。 ・昨年同様、静かな環境づくりに配慮しながら、読書・学習用の机や椅子の配置をしている。	

(8) その他

1－4－20	事業名	施設職員間の連携	所管	子ども課
事業内容	本のコーナーの整備や積極的に読書を取り入れた事業を計画するなど、施設の職員が連携して、施設全体で読書活動を推進する体制づくりに努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ロビーや待合室に、利用者が自由に手にとれるような図書コーナーを常設。各種健診や育児相談の時には絵本用のワゴンを出している。（池袋保健所・長崎健康相談所） 職員会議等で、読み聞かせなどの本に関する事業や本のコーナーの充実等を検討したり、本に関する情報交換を実施している。（区民ひろば・子どもスキップ・児童館・保育園） お勧め絵本の紹介読書コーナーにお勧め本の展示をし、メールマガジンにリストとして掲載し、様々な職種の職員が研修で得た情報を職員会議で共有している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員間の連携の充実を図っていく。 読書を取り入れた事業や本のコーナーの充実のため、区立図書館との連携を推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・区立図書館から定期的に図書の貸し出しを行い、さまざまなジャンルの本の充実を図っている。		・昨年度同様、継続して実施している。		・昨年度同様、継続して実施している。

12 子ども課

1－4－21	事業名	職員の資質の向上	所 管	子ども課
事業内容	成長していく子どもたちにとって、心の栄養となる読書の楽しさ、豊かさをよく理解し、その発達段階に合わせて本と子どもたちを結びつけるための知識・技術の向上に取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども福祉研修の 1 つとして、読書に関する内容の研修（平成 20 年度は外部講師による「紙芝居の演じ方」、平成 21 年度は図書館職員による「絵本・紙芝居の選び方と読み聞かせ方」）を年 1 回実施している。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・子ども家庭支援センター・保育園） 職員が情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 保護者向け（絵本作家など）の講習や特別区で実施している研修を受講している。（子ども家庭支援センター） グループ自主勉強会（絵本担当者）を実施している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員によるスキルアップ研修を実施し、知識や技術の向上を図る。（区民ひろば） 研修への参加や自己啓発により、資質の向上を図る。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 研修の受講等現状維持しながらも内容を充実させ、資質の向上を図る。（子ども家庭支援センター）			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・本が与える読書の楽しさ、興味関心の広がり、本の選び方を O J T で話し合い資質の向上を図った。		・昨年度同様、継続して実施している。		・昨年同様、継続して実施している。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1項目】

2－1－3	事業名	保護者への啓発	所 管	子ども課
事業内容	乳幼児向け事業の中で行う絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター等を通して親子で一緒に絵本をひらく楽しみ、子育てに絵本を取り入れていくことの大切さを伝える。 (区民ひろば・児童館・子ども家庭支援センター) 保護者会や園だより等で子どもが喜んで手にしている絵本を知らせたり、子供の好む本や長く読み継がれている良質の本を紹介する。(学童クラブ・保育園) 物語により養われる想像力の世界で遊ぶ大切さや、絵本を介して親子がゆったりとしたふれあいの時間を持つことの大切さを伝える。(学童クラブ・保育園)			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児向け事業の中に絵本の読み聞かせ等を取り入れて、随時読書に関する情報提供を行っている。(区民ひろば・児童館) 保護者会にて本に関する情報提供を行っている。(学童クラブ) センター便りやメールマガジン（月 1 回更新）で、絵本文化の意義を啓発している。(子ども家庭支援センター) 「わらべうた」講座を開催した。(子ども家庭支援センター) 蔵書を保護者へ貸出している。(子ども家庭支援センター) 妊婦対象の事業「ウエルカム赤ちゃん事業（※ 2 6）」において東西で 100 冊絵本をプレゼントしている。(子ども家庭支援センター) 絵本コーナーで毎月 3 冊のお薦め絵本を紹介している。(子ども家庭支援センター) 保護者会では年齢に応じた絵本や保護者向けの本を、保育園だよりやクラスだよりでは、子どもの興味や人気のある本を紹介し、読み聞かせや読書による効用を保護者に広めている。(保育園)			
目 標	事業内容を充実させ、保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 推薦図書などのポスターの掲示や、保護者などで本の読み聞かせの会などに関する情報を提供している。		・ 昨年度同様、継続して実施している。		・ 昨年度同様、継続して実施している。

13 子育て支援課

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【7項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（1項目）

1－1－13	事業名	地域の読書ボランティアによるおはなし会等の開催	所 管	子育て支援課 (子ども家庭支援センター)
事業内容	地域で活動している読書ボランティアによるおはなし会等の各種読み聞かせ活動を実施する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子育てが終ったお母さんグループによる読み聞かせを定期的に行っている。 その都度自主的に（高齢者で昔話や、童謡を歌うなど）読み聞かせしてくれる方を 受け入れている。			
目 標	ボランティアを積極的に受け入れ、事前に読み聞かせの日程をお知らせに載せ PR して参加者を増やしていく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
〈東部子ども家庭支援センター〉 ・グループ名：おはなしもんたん 平成 24 年 4 月～12 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 平成 25 年 1 月～3 月…毎月 1 回、水曜日に実施 ・グループ名：豊島区親子読書会 平成 24 年 4 月～12 月…4 月・6 月・8 月・10 月・12 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 平成 25 年 1 月～3 月…2 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 ・グループ名：中央図書館読み聞かせボランティア 平成 25 年 4 月～12 月…5 月・7 月・9 月・11 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 平成 26 年 1 月～3 月…1 月・3 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。		〈東部子ども家庭支援センター〉 ・グループ名：おはなしもんたん 平成 25 年 4 月～12 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 平成 26 年 1 月～3 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 ・グループ名：豊島区親子読書会 平成 25 年 4 月～12 月…4 月・6 月・8 月・10 月・12 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 平成 26 年 1 月～3 月…2 月・3 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 ・グループ名：中央図書館読み聞かせボランティア 平成 25 年 4 月～12 月…5 月・7 月・9 月・11 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 平成 26 年 1 月～3 月…1 月・3 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。		〈東部子ども家庭支援センター〉 ・グループ名：おはなしもんたん 平成 26 年 4 月～12 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 平成 27 年 1 月～3 月…毎月 1 回、水曜日に実施予定。 ・グループ名：豊島区親子読書会 平成 26 年 4 月～12 月…4 月・6 月・8 月・10 月・12 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 平成 27 年 1 月～3 月…2 月に 1 回ずつ、月曜日に実施予定。 ・グループ名：中央図書館読み聞かせボランティア 平成 26 年 4 月～12 月…5 月・7 月・9 月・11 月に 1 回ずつ、月曜日に実施。 平成 27 年 1 月～3 月…1 月・3 月に 1 回ずつ、月曜日に実施予定。 ・グループ名：りぷりんととしま 平成 26 年 4 月～12 月…8 月・

13 子育て支援課

〈西部子ども家庭支援センター〉 ・グループ名：ひまわり 平成 24 年 4 月～12 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 平成 25 年 1 月～3 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 ・グループ名：うりんぼう 平成 24 年 4 月～12 月…毎月 1 回、火曜日に実施。 平成 25 年 1 月～3 月…毎月 1 回、火曜日に実施。	〈西部子ども家庭支援センター〉 ・グループ名：ひまわり 平成 25 年 4 月～12 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 平成 26 年 1 月～3 月…毎月 1 回、水曜日に実施。 ・グループ名：うりんぼう 平成 25 年 4 月～12 月…毎月 1 回、火曜日に実施。 平成 26 年 1 月～3 月…毎月 1 回、火曜日に実施。	10 月・12 月 平成 27 年 1 月～3 月…2 月に実施予定。 〈西部子ども家庭支援センター〉 ・グループ名：ひまわり 平成 26 年 4 月～12 月…毎月 1 回、水曜日に実施予定。 平成 27 年 1 月～3 月…毎月 1 回、水曜日に実施予定。 ・グループ名：うりんぼう 平成 26 年 4 月～12 月…毎月 1 回、火曜日に実施予定。 平成 27 年 1 月～3 月…毎月 1 回、火曜日に実施予定。
---	---	--

第4 保育園・区民ひろば等における読書活動の推進（6項目）

（6）子ども家庭支援センター

1－4－12	事業名	絵本に触れる機会の充実	所 管	子育て支援課 (子ども家庭支援センター)
事業内容	乳幼児プログラムや子育て講座等において、絵本・紙芝居・パネルシアター等を利用しておはなしに親しむ活動を行ない、想像や知識の世界への興味・関心を高めて、想像力を育む機会を作っていく。 絵本を通じて楽しく子育てができるように、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び・ふれあい遊び等も乳幼児プログラムに取り入れていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ウエルカム赤ちゃん事業（※26）で絵本をプレゼントしている。 外部講師による「わらべうた」講座を開催している。(月1回) 職員やボランティアによる読み聞かせを実施している。			
目 標	紹介する絵本の紹介文を入れたメッセージカードを作成するなど現状維持しながら、絵本に触れる機会の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
＜東西子ども家庭支援センター 共通＞ ・育児訪問事業バースデー訪問にて、対象児に絵本を1冊プレゼント実施。 (通年) ・乳幼児対象のプログラム及び療育活動の中で、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び等を実施。(不定期通年) ・妊婦向け講習会ウエルカム赤ちゃん(月1回程度)・母親学級3回目の実施時(東部Cのみ)に、絵本のプレゼントを実施。		＜東西子ども家庭支援センター 共通＞ ・育児訪問事業バースデー訪問にて、対象児に絵本を1冊プレゼント実施。(通年) ・乳幼児対象のプログラム及び療育活動の中で、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び等を実施。(不定期通年) ・妊婦向け講習会ウエルカム赤ちゃん(月1回程度)・母親学級3回目の実施時(東部Cのみ)に、絵本のプレゼントを実施。 ・差し上げた絵本を職員が母親に読み聞かせをする。 ・ママのスマイル講座・パパの応援講座で絵本プレゼント実施 ・乳児用プログラムにおいて職員の絵本読み聞かせ実施。		＜東西子ども家庭支援センター 共通＞ ・育児訪問事業バースデー訪問にて、対象児に絵本を1冊プレゼント実施予定。(通年) ・乳幼児対象のプログラム及び療育活動の中で、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び等を実施予定。(不定期通年) ・妊婦向け講習会ウエルカム赤ちゃん(月1回程度)・母親学級3回目の実施時(東部Cのみ)に、絵本のプレゼントを実施予定。 ・差し上げた絵本を職員が母親に読み聞かせをする。 ・ママのスマイル講座・パパの応援講座で絵本プレゼント実施 予定。 ・乳児用プログラムにおいて職員の絵本読み聞かせ実施予定。

13 子育て支援課

1－4－13	事業名	読書コーナーの充実	所 管	子育て支援課 (子ども家庭支援センター)
事業内容	落ち着いた環境で気軽に多くの絵本、紙芝居、雑誌などに触れる機会を提供するため、本のコーナーや、乳幼児の利用する部屋などに読書コーナーを設け、貸出も行なう。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	利用者状況（土、日は父親の利用もある）に合わせて様々なジャンルの本を提供している。 保護者向け読書コーナーに父親向けコーナーを設置している。 座り易いソファを設置するなど環境整備を行った。 蔵書の貸出を行っている。 お薦め本を紹介している。			
目 標	絵本については、乳児の安全を考えリサイクル本ではなく、予算を工面して、新規に絵本を購入する。 両親用の図書は、区立図書館のリサイクル本を活用し蔵書を入れ替え整備していく。 さらに環境整備に力を入れていく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
＜東西子ども家庭支援センター 共通＞ ・5月に、図書券の寄附(10万円)があり、新規の本・紙芝居を購入する。蔵書 入れ替え整備を実施。 ・本の貸し出しをおこなっている。 ・親子ひろばでの図書コーナーのレイアウトを工夫し、環境設定に配慮する。		＜東西子ども家庭支援センター 共通＞ ・親子ひろばでの図書コーナーのレイアウトを工夫し、環境設定に配慮する。 ・新刊の図書に関しては、コーナーを作り紹介している。 ・父親用の図書コーナーを設けている。		＜東西子ども家庭支援センター 共通＞ ・親子ひろばでの図書コーナーのレイアウトを工夫し、環境設定に配慮する。 ・新刊の図書に関しては、コーナーを作り紹介している。 ・父親用の図書コーナーを設けている。

1－4－14	事業名	区内の子育て情報図書等の収集・提供	所 管	子育て支援課 (子ども家庭支援センター)
事業内容	子育てしている保護者にとってくつろぎながらも子育ての情報を得たり、学ぶことのできる身近な施設であるため、保護者向け家庭・育児雑誌を用意する。 障害の理解・虐待や子どもの権利など東西の子ども家庭支援センターの事業機能にも合わせた図書等を収集し提供する。 区内の子育てに関する新しい情報図書等が身近に手に取れるコーナーを設置する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	「子育てガイドブック」を毎年改定し発行、保健所や区民ひろば等で配布している。 近隣の区立施設と連携して、各施設の情報を掲載する「巣鴨・駒込マップ」を発行している。 メールマガジンを発行し、子育て情報を発信している。			
目 標	区立図書館からお勧め本の情報を得て図書の情報も掲載していくなど、継続的に内容を充実していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
〈東西子ども家庭支援センター 共通〉 ・メールマガジンに、図書の紹介を掲載し情報の提供を実施。継続的に情報の発信をしていく。 ・近隣の図書館・区民ひろば・保育園等区民施設と連携して各施設の情報を掲載する「巣鴨・駒込マップ」「みんなおいで」「子育てぽんぽん」を発行。定期的にネットワーク会議を持ち、その時の状況にあった情報交換を行っている。 ・図書館・区民ひろばのイベント情報(お話会など)を、利用者に周知している。(ポスター掲示などで)		〈東西子ども家庭支援センター 共通〉 ・メールマガジンに、図書の紹介を掲載し情報の提供を実施。継続的に情報の発信をしていく。 ・近隣の図書館・区民ひろば・保育園等区民施設と連携して各施設の情報を掲載する「巣鴨・駒込マップ」(東部)「みんなおいで」「子育てぽんぽん」(西部)を発行。定期的にネットワーク会議を持ち、その時の状況にあった情報交換を行っている。 ・図書館・区民ひろばのイベント情報(お話会など)を、利用者に周知している。(ポスター掲示などで) ・図書館から届いている、おすすめ図書のパンフレット配布をしている。		〈東西子ども家庭支援センター 共通〉 ・メールマガジンに、図書の紹介を掲載し情報の提供を実施。継続的に情報の発信をしていく。 ・平成 26 年度から、既存のネットワークを利用し東西子ども家庭支援センターが事務局となり豊島区内を 7 ブロックに分け近隣の図書館・区民ひろば・保育園等区民施設と連携して各施設の情報を掲載するカラーリーフレット作成する。又、7 ブロックが定期的にネットワーク会議を持ち、その時の状況にあった情報交換を行っている。 ・図書館・区民ひろばのイベント情報(お話会など)を、利用者に周知している。(ポスター掲示などで) ・図書館から届いている、おすすめ図書のパンフレット配布をしている。

13 子育て支援課

1－4－15	事業名	リサイクル図書の活用	所 管	子育て支援課 (子ども家庭支援センター)
事業内容	区立図書館からリサイクル図書を活用し、利用者に閲覧提供する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	—			
目 標	両親向けの料理本、子育て本などの図書を置いて利用者を支援する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・5 月に、図書券の寄附(10 万円)があり、新規の本・紙芝居を購入する。両親むけの図書を置き閲覧提供を実施。 ・センター内のすべての図書の貸し出しを可能とし利用者にアナウンスをしている。		＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・センター内のすべての図書の貸し出しを可能とし利用者にアナウンスをしている。 ・本の入れ替え・頂いた本等 利用者に自由に持ち帰って頂いた。		＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・センター内のすべての図書の貸し出しを可能とし利用者にアナウンスをしている。 ・本の入れ替え・頂いた本等 利用者に自由に持ち帰って頂いた。

(8) その他

1－4－20	事業名	施設職員間の連携	所 管	子育て支援課
事業内容	本のコーナーの整備や積極的に読書を取り入れた事業を計画するなど、施設の職員が連携して、施設全体で読書活動を推進する体制づくりに努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ロビーや待合室に、利用者が自由に手にとれるような図書コーナーを常設。各種健診や育児相談の時には絵本用のワゴンを出している。（池袋保健所・長崎健康相談所） 職員会議等で、読み聞かせなどの本に関する事業や本のコーナーの充実等を検討したり、本に関する情報交換を実施している。（区民ひろば・子どもスキップ・児童館・保育園） お勧め絵本の紹介読書コーナーにお勧め本の展示をし、メールマガジンにリストとして掲載し、様々な職種の職員が研修で得た情報を職員会議で共有している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員間の連携の充実を図っていく。 読書を取り入れた事業や本のコーナーの充実のため、区立図書館との連携を推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
〈東西子ども家庭支援センター共通〉 ・専門分野の推薦図書をセンター来所の医者・臨床心理士・言語聴覚士等より情報提供をうける。 ・職員同士研修で得た情報を職場内 OJT、職員打ち合わせ会で共有化している。		〈東西子ども家庭支援センター共通〉 ・専門分野の推薦図書をセンター来所の医者・臨床心理士・言語聴覚士等より情報提供をうける。 ・職員同士研修で得た情報を職場内 OJT、職員打ち合わせ会で共有化している。		〈東西子ども家庭支援センター共通〉 ・専門分野の推薦図書をセンター来所の医者・臨床心理士・言語聴覚士等より情報提供をうける。 ・職員同士研修で得た情報を職場内 OJT、職員打ち合わせ会で共有化している。

13 子育て支援課

1－4－21	事業名	職員の資質の向上	所 管	子育て支援課
事業内容	成長していく子どもたちにとって、心の栄養となる読書の楽しさ、豊かさをよく理解し、その発達段階に合わせて本と子どもたちを結びつけるための知識・技術の向上に取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども福祉研修の 1 つとして、読書に関する内容の研修（平成 20 年度は外部講師による「紙芝居の演じ方」、平成 21 年度は図書館職員による「絵本・紙芝居の選び方と読み聞かせ方」）を年 1 回実施している。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・子ども家庭支援センター・保育園） 職員が情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 保護者向け（絵本作家など）の講習や特別区で実施している研修を受講している。（子ども家庭支援センター） グループ自主勉強会（絵本担当者）を実施している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員によるスキルアップ研修を実施し、知識や技術の向上を図る。（区民ひろば） 研修への参加や自己啓発により、資質の向上を図る。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 研修の受講等現状維持しながらも内容を充実させ、資質の向上を図る。（子ども家庭支援センター）			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・職員同士研修で得た情報を職場内 OJT 及び職員打ち合わせで共有化している。		＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・職員同士研修で得た情報を職場内 OJT 及び職員打ち合わせで共有化している。		東西子ども家庭支援センター共通＞ ・職員同士研修で得た情報を職場内 OJT 及び職員打ち合わせで共有化している。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1 項目】

2-1-3	事業名	保護者への啓発	所 管	子育て支援課
事業内容	乳幼児向け事業の中で行う絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター等を通して親子と一緒に絵本をひらく楽しみ、子育てに絵本を取り入れていくことの大切さを伝える。(区民ひろば・児童館・子ども家庭支援センター) 保護者会や園だより等で子どもが喜んで手にしている絵本を知らせたり、子供の好む本や長く読み継がれている良質の本を紹介する。(学童クラブ・保育園) 物語により養われる想像力の世界で遊ぶ大切さや、絵本を介して親子がゆったりとしたふれあいの時間を持つことの大切さを伝える。(学童クラブ・保育園)			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児向け事業の中に絵本の読み聞かせ等を取り入れて、随時読書に関する情報提供を行っている。(区民ひろば・児童館) 保護者会にて本に関する情報提供を行っている。(学童クラブ) センター便りやメールマガジン(月 1 回更新)で、絵本文化の意義を啓発している。(子ども家庭支援センター) 「わらべうた」講座を開催した。(子ども家庭支援センター) 蔵書を保護者へ貸出している。(子ども家庭支援センター) 妊婦対象の事業「ウエルカム赤ちゃん事業」において東西で 100 冊絵本をプレゼントしている。(子ども家庭支援センター) 絵本コーナーで毎月お薦め絵本を紹介している。(子ども家庭支援センター) 保護者会では年齢に応じた絵本や保護者向けの本を、保育園だよりやクラスだよりでは、子どもの興味や人気のある本を紹介し、読み聞かせや読書による効用を保護者に広めている。(保育園)			
目 標	事業内容を充実させ、保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・育児訪問事業バースデー訪問・ウエルカム赤ちゃん・母親学級・スマイル講座・父親応援講座で絵本をプレゼント及び父親読み聞かせ講座を開催する。親子で絵本に親しむ機会を提供していく。 ・5月に、図書券の寄附(10万円)があり、新規の本・紙芝居を約60冊購入し、利用者に新書の紹介をしながら読書の啓発を行っていった。		＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・育児訪問事業バースデー訪問・ウエルカム赤ちゃん・母親学級・スマイル講座・父親応援講座で絵本をプレゼント及び父親読み聞かせ講座を開催する。親子で絵本に親しむ機会を提供していく。		＜東西子ども家庭支援センター共通＞ ・育児訪問事業バースデー訪問・ウエルカム赤ちゃん・母親学級・スマイル講座・父親応援講座で絵本をプレゼント及び父親読み聞かせ講座を開催する。親子で絵本に親しむ機会を提供していく。

1 4 保育園課

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【7項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（1項目）

1－1－14	事業名	地域の読書ボランティアの育成と連携	所 管	保育園課（保育園）
事業内容	地域で活動している読書ボランティア（読み聞かせ、紙芝居、ストーリーテリングなどを行う）や、保護者の自主サークルによる読み聞かせ活動を受け入れて、保育に役立てるとともに、ボランティア育成のサポートを行う。 年齢の異なる子どもたちの読書活動交流の場として、小・中学生及び高校生等による園児への読み聞かせ等にも取り組んでいく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	中学生の職場体験の中で、園児への読み聞かせの場を提供している。 中学生や高校生のボランティア活動の中で、園児への読み聞かせの場を提供している。			
目 標	中学生の職場体験や中・高校生のボランティア活動の中で、園児への読み聞かせの場を提供していく。 地域で活動している読書ボランティア等の活動を受け入れ、ボランティア活動の推進を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・中学生の職場体験の中で、園児への読み聞かせの場を提供し、実施している。 ・地域の中学生・高校生のボランティア活動、読書ボランティア活動の中で、園児への読み聞かせの場を提供し、実施している。		・平成 24 年度と同様		平成 24 年度と同様

第4 保育園・区民ひろば等における読書活動の推進（6項目）

（7）区立保育園

1－4－16	事業名	絵本の読み聞かせや知識の世界に触れる機会の充実	所 管	保育園課（保育園）
事業内容	日々の保育の中に絵本・紙芝居等の読み聞かせや自然・季節行事などの知識に親しむ活動を取り入れ、想像や知識の世界への興味・関心を高め、想像力を育む機会を作っていく。 絵本を媒介に子どもとの触れあいを大切にし、読み手の声やぬくもりなど、人との関わりを通して心を育てていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	年間指導計画に絵本・紙芝居等の読み聞かせや自然・季節行事などの知識に親しむ活動を年齢に合わせて織り込み、日常的に実施している。			
目 標	絵本の読み聞かせや知識の世界に触れる機会の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・年間指導計画に絵本・紙芝居等の読み聞かせや自然・季節行事などの知識に親しむ活動を年齢に合わせて織り込み、日常的に実施している。		・平成 24 年度と同様	平成 24 年度と同様	

1－4－17	事業名	在園児・保護者への図書貸出	所 管	保育園課（保育園）
事業内容	子どもや保護者が気軽に利用できる本のコーナーを整備・充実し、興味を引く展示を工夫して、在園児、保護者への図書の貸出を広げていく。 各園の状況に応じて地域の親子への図書コーナーの開放を進めていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	図書スペースの開放や在園児や保護者への貸出コーナーの設置等、各保育園の状況により独自に取り組んでいる。 平成 21 年度より「絵本ぐるっと便」（※ 2 2）を活用し、在園児と保護者への貸出を開始した。			
目 標	平成 23 年度に「絵本ぐるっと便」の内容と運営方法を見直し、保育園での図書貸出の充実と推進を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度	平成 26 年度	
・各園の状況・季節に応じて貸出コーナーを整備し、在園児と保護者への図書の貸出をしている。予算がなくコーナーを充実させることが難しい。		・平成 24 年度と同様	各園の状況によって異なるが、玄関のスペースなどに貸出コーナーを設置し園児や保護者へ図書の貸出をしている。予算がなくリサイクル本や古書または職員の本を貸出すなどの工夫をし、新刊の購入は難しい。	

14 保育園課

1－4－18	事業名	区立図書館への園外保育及び団体貸出の推進	所 管	保育園課（保育園）
事業内容	さまざまな絵本、物語等に出会う機会を作るため、区立図書館と連携し、日常保育の中で図書館へ出かけていく。 子どもたちが自発的に読みたい本を選ぶことで、読書の喜びや、本への親しみを持たせるために、団体貸出を利用する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	園外保育時に近隣の区立図書館へ行き、団体貸出を積極的に利用している。			
目 標	区立図書館への園外保育及び団体貸出利用の推進を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・園外保育として近隣の区立図書館へ行き、団体貸出を積極的に利用し、子ども達が読みたい本を自分で選ぶことで絵本への親しみを持たせている。		・平成 24 年度と同様		平成 24 年度と同様

1－4－19	事業名	図書等の整備と充実	所 管	保育園課（保育園）
事業内容	園児の発達や興味・関心にあった絵本、物語、図鑑などを整備するとともに、区立図書館のリサイクル図書や地域の人々からの寄贈を活用し、保育園の図書を充実させる。図書コーナーは、適度な明るさがあり、園児が自分で自由に絵本を選びやすく、親しみやすい環境を心がけていく。 団体貸出や、貸出しセットの活用など区立図書館とも連携して、子どもに魅力ある本、長く読み継がれている良質の本、季節や行事に合わせた本を充実させて、より絵本が身近になるよう努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	リサイクル図書や区立図書館の団体貸出を利用し、図書の充実や季節ごとの入れ替え等に活用している。 「絵本ぐるっと便」を定期的に巡回させ、各園で活用している。 本と自然に触れ合い、落ち着ける環境作りを、各園で各クラス毎に工夫して実施している。			
目 標	区立図書館と連携を取りながら、保育園における図書等の整備と充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・リサイクル図書を積極的に利用し、図書の充実や季節ごとの入れ替え等に活用している。 ・団体貸出を利用し、本と自然に触れ合う機会を作ったり、各園で各クラス毎に落ち着ける環境作りを工夫して、絵本が身近になるようにしている。		・平成 24 年度と同様		平成 24 年度と同様

(8) その他

1－4－20	事業名	施設職員間の連携	所 管	保育園課
事業内容	本のコーナーの整備や積極的に読書を取り入れた事業を計画するなど、施設の職員が連携して、施設全体で読書活動を推進する体制づくりに努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ロビーや待合室に、利用者が自由に手にとれるような図書コーナーを常設。各種健診や育児相談の時には絵本用のワゴンを出している。（池袋保健所・長崎健康相談所） 職員会議等で、読み聞かせなどの本に関する事業や本のコーナーの充実等を検討したり、本に関する情報交換を実施している。（区民ひろば・子どもスキップ・児童館・保育園） お勧め絵本の紹介読書コーナーにお勧め本の展示をし、メールマガジンにリストとして掲載し、様々な職種の職員が研修で得た情報を職員会議で共有している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員間の連携の充実を図っていく。 読書を取り入れた事業や本のコーナーの充実のため、区立図書館との連携を推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
・職員会議等で、読み聞かせなどの本に関する事業や本のコーナーの充実等を検討したり、本に関する情報交換を実施している。	・平成 24 年度と同様		・係を決めて、絵本の整理や子ども向けの環境を整えている。 ・園内研修の取り組みとして、保育環境の中の 1 つとして絵本コーナーについて充実を図っている。	

14 保育園課

1－4－2 1	事業名	職員の資質の向上	所 管	保育園課
事業内容	成長していく子どもたちにとって、心の栄養となる読書の楽しさ、豊かさをよく理解し、その発達段階に合わせて本と子どもたちを結びつけるための知識・技術の向上に取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども福祉研修の 1 つとして、読書に関する内容の研修（平成 20 年度は外部講師による「紙芝居の演じ方」、平成 21 年度は図書館職員による「絵本・紙芝居の選び方と読み聞かせ方」）を年 1 回実施している。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・子ども家庭支援センター・保育園） 職員が情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 保護者向け（絵本作家など）の講習や特別区で実施している研修を受講している。（子ども家庭支援センター） グループ自主勉強会（絵本担当者）を実施している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員によるスキルアップ研修を実施し、知識や技術の向上を図る。（区民ひろば） 研修への参加や自己啓発により、資質の向上を図る。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 研修の受講等現状維持しながらも内容を充実させ、資質の向上を図る。（子ども家庭支援センター）			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・子ども福祉研修の 1 つとして、読書に関する内容の研修を年 1 回実施している。 ・職員の情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。 ※平成 24 年度子ども福祉研修実施 平成 24 年 9 月 19 日（水） テーマ「声とことばの表現力を高めよう」		・職員の情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。		・子ども福祉研修、東京都公立保育園研究会、東社協などで講習会がある場合は職員に対して積極的に参加を推奨している。

第2章 読書活動のための啓発やPR【2項目】

2-1-3	事業名	保護者への啓発	所 管	保育園課
事業内容	乳幼児向け事業の中で行う絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター等を通して親子と一緒に絵本をひらく楽しみ、子育てに絵本を取り入れていくことの大切さを伝える。 (区民ひろば・児童館・子ども家庭支援センター) 保護者会や園だより等で子どもが喜んで手にしている絵本を知らせたり、子供の好む本や長く読み継がれている良質の本を紹介する。(学童クラブ・保育園) 物語により養われる想像力の世界で遊ぶ大切さや、絵本を介して親子がゆったりとしたふれあいの時間を持つことの大切さを伝える。(学童クラブ・保育園)			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児向け事業の中に絵本の読み聞かせ等を取り入れて、随時読書に関する情報提供を行っている。(区民ひろば・児童館) 保護者会にて本に関する情報提供を行っている。(学童クラブ) センター便りやメールマガジン(月 1 回更新)で、絵本文化の意義を啓発している。(子ども家庭支援センター) 「わらべうた」講座を開催した。(子ども家庭支援センター) 蔵書を保護者へ貸出している。(子ども家庭支援センター) 妊婦対象の事業「ウエルカム赤ちゃん事業」において東西で 100 冊絵本をプレゼントしている。(子ども家庭支援センター) 絵本コーナーで毎月 3 冊のお薦め絵本を紹介している。(子ども家庭支援センター) 保護者会では年齢に応じた絵本や保護者向けの本を、保育園だよりやクラスだよりでは、子どもの興味や人気のある本を紹介し、読み聞かせや読書による効用を保護者に広めている。(保育園)			
目 標	事業内容を充実させ、保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・保護者会では年齢に応じた絵本や保護者向けの本を、保育園だよりやクラスだよりでは、子どもの興味や人気のある本を紹介し、読み聞かせや読書による効用を保護者に伝え、保育園の絵本コーナーの利用を薦めている。		・平成 24 年度と同様		・平成 24 年度と同様 ・地域向けに保育園の子どもたちの好きな絵本の紹介のお便りをだしたり、地域支援事業で紹介したりしている。

14 保育園課

2-1-12	事業名	乳幼児・幼児向けブックリストの配布	所 管	保育園課（保育園）
事業内容	図書館で作成している 0～2 歳児向けブックリスト「ねえ、よんで」と、3～6 歳児向けブックリスト「ほんのしまとしま」について、対象年齢の在籍する区立・私立の保育園に配布し、保護者の読書への関心と理解を深め、家庭での読書活動の推進を促していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ブックリストを在園児の保護者に配布している。 ブックリストを保育園の窓口に設置し、来園者（希望者）に配布している。			
目 標	引き続き区立・私立の保育園でブックリストを配布していく。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ブックリストを在園児の保護者に配布している。 ・ブックリストを保育園の窓口に置き、来園者及び見学者に配布している。		・平成 24 年度と同様		・ブックリストを在園児に配布している。 ・保護者の目につきやすい取りやすい所に置くようにしている。

15 地域区民ひろば課

第1章 子どもと本をつなぐ体制づくり【7項目】

第1 家庭・地域における読書活動の推進（1項目）

1－1－4	事業名	地域の図書ボランティアへの支援	所 管	地域区民ひろば課 (区民ひろば 子育てひろば)
事業内容	図書の整理や貸出、読み聞かせ等を行っているボランティアや団体、子どもの本の研究などを行っている各団体へ情報の提供を行うなど、活動の支援を行う。			
推 進 計 画				
平成 21 年度末 までの状況	ボランティアへ絵本の紹介や読み聞かせを実施する場の提供を行っている。			
目 標	地域の図書ボランティアへの支援の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・23 年度同様継続して行っている。		・24 年度同様継続して行っている。		・25 年度同様、乳幼児の読み聞かせにボランティアを活用している。

第4 保育園・区民ひろば等における読書活動の推進（6項目）

（1）区民ひろば

1－4－1	事業名	絵本に触れる機会の充実	所 管	地域区民ひろば課 (区民ひろば 子育てひろば)
事業内容	乳幼児プログラム等において、絵本・紙芝居・パネルシアター等を利用しておはなしに親しむ活動を行ない、想像や知識の世界への興味・関心を高めて、想像力を育む機会を作っていく。 絵本を通じて楽しく子育てができるように、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び・ふれあい遊び等も乳幼児プログラムに取り入れていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ひろばタイムで絵本を紹介し、職員による読み聞かせを実施している。 絵本や紙芝居の貸出を行っている。			
目 標	絵本に触れる機会の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・23 年度同様継続して行っている。		・24 年度同様継続して行っている。		・25 年度同様、乳幼児のプログラムで職員による絵本、紙芝居などの読み聞かせを行っている。

15 地域区民ひろば課

1－4－2	事業名	さまざまな世代が関わる良さを活かした読書コーナーの充実	所 管	地域区民ひろば課 (区民ひろば 子育てひろば)
事業内容	落ち着いた環境で気軽に多くの絵本、紙芝居、雑誌などに触れる機会を提供するため、本のコーナーや乳幼児の利用する部屋等に読書コーナーを設置し、親子連れだけではなく、中高生や高齢者・一般区民等の求めに応じるため、マンガやコミック誌等、新鮮で親しみやすいジャンルにも配慮し、様々な年代が集う施設の良さを活かした読書コーナーとして充実していく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	本の部屋に絵本コーナーを設置し、親子で読書を楽しむ環境を充実させている。 季節の絵本をカウンターに展示し、職員のお薦め絵本を掲示板にて紹介している。 マンガ・コミック雑誌の充実のため、寄贈本や区立図書館のリサイクル本・学校等の廃棄本を活用し、展示している。 高齢者による昔話を語る会や季節に適した朗読会を実施している。			
目 標	さまざまな世代が関わる良さを活かした読書コーナーの充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様継続して行っている。		・ 25 年度同様継続して行っている。

1－4－3	事業名	子育て情報図書等の収集・提供	所 管	地域区民ひろば課 (区民ひろば 子育てひろば)
事業内容	子育てしている保護者にとって、くつろぎながらも子育ての情報を得たり学ぶことのできる身近な施設であるため、保護者向けの家庭・育児雑誌を用意する。 区内の子育てに関する新しい情報図書等が身近で手に取れる情報コーナーを設置する。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	保護者向けの育児関連本や料理・健康等に関する本を定期購読している。			
目 標	子育て情報図書等の収集・提供の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様、保護者向けの育児関連本や料理・健康等に関する本を随時購入している。

(3) 区民ひろば

1－4－5	事業名	絵本に触れる機会の充実	所 管	地域区民ひろば課 (区民ひろば 子育てひろば)
事業内容	乳幼児プログラム等において、絵本・紙芝居・パネルシアター等を利用しておはなしに親しむ活動を行ない、想像や知識の世界への興味・関心を高めて、想像力を育む機会を作っていく。 絵本を通じて楽しく子育てができるように、読み聞かせの他、わらべうた・手遊び・ふれあい遊び等も乳幼児プログラムに取り入れていく。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児プログラムにおいて、絵本の読み聞かせ等を取り入れている。 年間を通して日常的に絵本の読み聞かせ等を全館で実施している。			
目 標	絵本に触れる機会の充実を図る。			
実 施 状 況				
平成 24 年度	平成 25 年度		平成 26 年度	
児童館から区民ひろば (子育てひろば)へ移管 改正	定期的に読み聞かせ、パネルシアターを実施している。		乳幼児のプログラムで、職員やボランティアによる読み聞かせやパネルシアターを、定期的に実施している。	

(8) その他

1 - 4 - 2 0	事業名	施設職員間の連携	所 管	地域区民ひろば課
事業内容	本のコーナーの整備や積極的に読書を取り入れた事業を計画するなど、施設の職員が連携して、施設全体で読書活動を推進する体制づくりに努める。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	ロビーや待合室に、利用者が自由に手にとれるような図書コーナーを常設。各種健診や育児相談の時には絵本用のワゴンを出している。（池袋保健所・長崎健康相談所） 職員会議等で、読み聞かせなどの本に関する事業や本のコーナーの充実等を検討したり、本に関する情報交換を実施している。（区民ひろば・子どもスキップ・児童館・保育園） お勧め絵本の紹介読書コーナーにお勧め本の展示をし、メールマガジンにリストとして掲載し、様々な職種の職員が研修で得た情報を職員会議で共有している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員間の連携の充実を図っていく。 読書を取り入れた事業や本のコーナーの充実のため、区立図書館との連携を推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様継続して行っている。		・ 25 年度同様継続して行っている。

15 地域区民ひろば課

1－4－21	事業名	職員の資質の向上	所 管	地域区民ひろば課
事業内容	成長していく子どもたちにとって、心の栄養となる読書の楽しさ、豊かさをよく理解し、その発達段階に合わせて本と子どもたちを結びつけるための知識・技術の向上に取り組む。			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	子ども福祉研修の 1 つとして、読書に関する内容の研修（平成 20 年度は外部講師による「紙芝居の演じ方」、平成 21 年度は図書館職員による「絵本・紙芝居の選び方と読み聞かせ方」）を年 1 回実施している。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・子ども家庭支援センター・保育園） 職員が情報収集や講習会への参加等、各自で自己啓発に努めている。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 保護者向け（絵本作家など）の講習や特別区で実施している研修を受講している。（子ども家庭支援センター） グループ自主勉強会（絵本担当者）を実施している。（子ども家庭支援センター）			
目 標	職員によるスキルアップ研修を実施し、知識や技術の向上を図る。（区民ひろば） 研修への参加や自己啓発により、資質の向上を図る。（児童館・子どもスキップ・ジャンプ・保育園） 研修の受講等現状維持しながらも内容を充実させ、資質の向上を図る。（子ども家庭支援センター）			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・ 23 年度同様継続して行っている。		・ 24 年度同様継続して行っている。		・ 研修への参加や自己啓発によるスキルアップを行っている。

第2章 読書活動のための啓発やPR【1項目】

2-1-3	事業名	保護者への啓発	所 管	地域区民ひろば課
事業内容	乳幼児向け事業の中で行う絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター等を通して親子と一緒に絵本をひらく楽しみ、子育てに絵本を取り入れていくことの大切さを伝える。 (区民ひろば・児童館・子ども家庭支援センター) 保護者会や園だより等で子どもが喜んで手にしている絵本を知らせたり、子供の好む本や長く読み継がれている良質の本を紹介する。(学童クラブ・保育園) 物語により養われる想像力の世界で遊ぶ大切さや、絵本を介して親子がゆったりとしたふれあいの時間を持つことの大切さを伝える。(学童クラブ・保育園)			
推 進 計 画				
平成 21 年度 末までの状況	乳幼児向け事業の中に絵本の読み聞かせ等を取り入れて、随時読書に関する情報提供を行っている。(区民ひろば・児童館) 保護者会にて本に関する情報提供を行っている。(学童クラブ) センター便りやメールマガジン(月 1 回更新)で、絵本文化の意義を啓発している。(子ども家庭支援センター) 「わらべうた」講座を開催した。(子ども家庭支援センター) 蔵書を保護者へ貸出している。(子ども家庭支援センター) 妊婦対象の事業「ウエルカム赤ちゃん事業」において東西で 100 冊絵本をプレゼントしている。(子ども家庭支援センター) 絵本コーナーで毎月 3 冊のお薦め絵本を紹介している。(子ども家庭支援センター) 保護者会では年齢に応じた絵本や保護者向けの本を、保育園だよりやクラスだよりでは、子どもの興味や人気のある本を紹介し、読み聞かせや読書による効用を保護者に広めている。(保育園)			
目 標	事業内容を充実させ、保護者への啓発を継続的に推進する。			
実 施 状 況				
平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度
・23 年度同様継続して行っている。		・24 年度同様継続して行っている。		・25 年度同様、乳幼児向け事業のプログラムに絵本の読み聞かせ等を取り入れている。

《用語解説》

※ 1 ブックトーク（ぶっくとーく）

ある主題に沿って本を紹介するもの。聴き手の発達段階に合わせさまざまなジャンルの本を選び、一部あらすじを紹介するなど、読書興味を喚起しようとするもの。

※ 2 点字図書館（てんじとしょかん）

視覚に障害のある方等のために、点字図書・録音図書の製作・貸出等を行う情報提供施設。（身体障害者福祉法第 34 条）

※ 3 点訳（てんやく）

文字情報を、その内容にできるだけ忠実に点字に置き換えること。

※ 4 録音図書（ろくおんとしょ）

図書等の活字資料を音訳し、録音したもの。カセットテープに録音したテープ図書や国際規格に基づいてデジタル化したデジター図書がある。デジター図書はCDの形態で貸出し、専用機やパソコンで再生する。特徴は、①目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができる、②圧縮ファイルで記録することにより 50 時間以上収録することが可能、など。

※ 5 音訳（おんやく）

文字・図・表等をできる限り忠実に音声化すること。

※ 6 拡大写本（かくだいしゃほん）

弱視の方の個々の視力に合わせて、文字の大きさ・行間を調整した本。

※ 7 さわる絵本（さわるえほん）

さまざまな材料（布・毛糸・ビニールなど）を使って絵を半立体で表現し、触覚で楽しむことのできる絵本。

※ 8 対面朗読（たいめんろうどく）

利用者が希望する資料を音訳・朗読するサービス。図書館資料に加え、個人が持参する図書・パンフレット・手紙などにも対応できる。

※ 9 パネルシアター（ばねるしあたー）

板にフланネル布地を張ったパネル舞台に、不織布で作成した絵を貼ったり取ったりしながら、物語を演じること。フланネルシアターともいう。

※ 10 ストーリーテリング（すとーりーてりんぐ）

語り手が物語を覚えて語ること。素話（すばなし）ともいう。

※ 11 スライド（すらいど）

物語や絵本の場面をスライドでスクリーンに投影し、読み聞かせを行う。

※ 12 学校訪問（がっこうほうもん）

学校からの求めに応じ、区立図書館員が学校に出張をして、図書館の利用案内・読み聞かせ・ブックトーク等のサービスを行う。

※ 13 学級招待（がっきゅうしょうたい）

児童・生徒が区立図書館に来館して、図書館の利用案内・図書館見学・読み聞かせ等のサービスを行う。

※ 14 NPO（えぬぴーおー）

「Nonprofit Organization」の頭文字をとったもので、民間の非営利組織のこと。福祉や環境、国際協力、人権問題等の社会的な課題に主体的に取り組んでいる組織を指す。

※ 15 ワークショップ（わーくしょっぷ）

専門家の助言を受けながら、参加者が共同で研究や創作を行う場。演劇・美術・行政など、さまざまな分野において行われる参加型講習会。創作集会。

※ 16 ドラマリーディング（どらまりーでいんぐ）

台本を手に持ち、声と体で物語の世界を表現する演劇形態のひとつ。

※ 17 家庭教育学級（かていきょういくがっきゅう）

子育て期にある保護者の方を対象として、発達段階別（乳幼児・小学生・思春期）に開催。日頃抱えている子育てに関する悩みや不安を解決する手がかりを見つけ、大人（保護者）と子どもが楽しく育ちあっていくために、講義やワークショップを通して一緒に考えていく事業。

※18 「赤い鳥」(あかいとり)

鈴木三重吉(現豊島区目白3丁目)により大正7年に創刊された児童雑誌。

※19 ペープサート(ペーぷさーと)

紙人形を使った人形劇。

※20 点字つき絵本(てんじつきえほん)

絵本の文章を塩化ビニール製の透明シートに点訳し、原本に貼り付けたもの。同じシートで絵の形を貼ったり説明文をつけたりしたものもある。

※21 ユニバーサル絵本(ゆにばーさるえほん)

点字や凹凸を付けるなどして誰にでも読みやすいユニバーサルデザイン仕様になっている絵本。

※22 「絵本ぐるっと便」(えほんぐるっとびん)

区立保育園において、絵本を巡回させる交換便。

※23 YA(わいえー)

Young Adult(ヤングアダルト)の略。主に10代の読者を指す。

※24 点字指導(てんじしどう)

視覚に障害があり、点字を学びたい利用者に、点字指導員が個々のペースに合わせて個別指導を行う。

※25 「読んでチャレンジななまる君の120冊」(よんでちゃれんじななまるくんのひやくにじゅっさつ)

豊島区教育委員会が推薦する図書120冊の本についてのクイズや質問に答えることで、読みを深め、読書に関する興味や関心を高めることのできるソフト。

※26 ウエルカム赤ちゃん事業(うえるかむあかちゃんじぎょう)

第1子を妊娠中の方向けの出産応援プロジェクト。

先輩たちとの交流、赤ちゃんとの触れ合い、絵本のプレゼントを行っている。

〈参考〉 計画の数値目標

豊島区子ども読書活動推進計画（第二次）では、第一次推進計画で定めた目標値を継承することといたします。

※ 2、3、4は「基礎的・基本的な内容の定着及び学習スキルに関する調査結果報告『読書・コミュニケーションに関する調査』（平成21年1月 豊島区教育委員会）」より数値を引用した。

1.区立図書館における子どもの利用登録率

	現状値 (21年1月)	27年度までの 目標値
0 ～ 6歳	17.0%	26.0%
7 ～ 12歳	70.6%	90.0%
13 ～ 15歳	59.1%	77.0%
16 ～ 18歳	40.9%	70.0%

2.読書が好きな児童・生徒の割合

	現状値 (21年1月)	27年度までの 目標値
児童（区立小学校）	81.8%	96.0%
生徒（区立中学校）	77.8%	81.0%

3.普段の読書量（週2～3回以上）の割合

	現状値 (21年1月)	27年度までの 目標値
児童（区立小学校）	63.8%	78.0%
生徒（区立中学校）	58.0%	62.0%

4.1 週間あたりの読書時間（3時間以上）

	現状値 (21年1月)	27年度までの 目標値
児童（区立小学校）	18.5%	34.0%
生徒（区立中学校）	13.6%	21.0%

〈参考〉 計画の重点事業

第一次推進計画で実施してきた事業を検証し、新たに第二次推進計画として次の87項目の事業に取り組んでいきます。

87 項目の事業

子どもと本をつなぐ体制づくり（75 項目）

- 家庭・地域における読書活動の推進（14 項目）
- 区立図書館における読書活動の推進（29 項目）
- 学校における読書活動の推進（11 項目）
- 保育園・区民ひろば等における読書活動の推進（21 項目）

読書活動のための啓発やPR（12 項目）

この取組む事業のうち、特に重点的に取組む事業を明らかにして読書活動の推進を図ります。

重点事業

1 ボランティア人材バンクによるボランティアの活用

〔図書館課〕

読み聞かせや本の補修などのボランティアをボランティア人材バンクに登録して、区立小・中学校等に紹介し、登録ボランティアに活動の場を提供する。

2 点訳・音訳等ボランティアの育成及び活動支援

〔図書館課〕

点字図書館（※2）において、点字図書（点訳）（※3）・録音図書（※4）（音訳）（※5）・拡大写本（※6）・さわる絵本（※7）の製作及び、対面朗読（※8）等に関わるボランティアを継続的に育成するとともに、ボランティアの活動を支援し、視覚障害のある子どもからの求めに応じられる体制を整えていく。

3 幼児・小学生向け行事の開催 [図書館課]

絵本の読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター（※9）、ストーリーテリング（※10）、スライド（※11）等を行う「おはなし会」を全区立図書館で開催する。

また、季節にちなんだ「お楽しみ会」、「映画会」、「工作会」等、子どもと本の出会いの場となる様々な行事を開催する。

4 子ども向け図書や資料の充実 [図書館課]

調べ学習に対応する図書、親しみやすいジャンルや、時代に即した資料（DVDやCD等）を計画的に収集し、子どもの求めに応える蔵書を構築する。

5 学校への支援・連携 [図書館課]

区立幼稚園・小・中学校（以下「学校等」という。）に対して、学校訪問（※12）、学級招待（※13）、職場体験等（以下「学校向け図書館サービス」という。）を実施するとともに、リサイクル図書の提供等の学校支援サービスを行う。

区立図書館の仕事を体験する職場体験を地域の中学生に向けて実施し、図書館への理解を深めることで読書への興味につなげていく。

区内小・中学校特別支援学級や都立大塚ろう学校（豊島区）等に対して、団体貸出・学校訪問・学級招待等の支援を行っていく。

千葉県富津市にある区立竹岡健康学園に対して、団体貸出・リサイクル図書の提供等、定期的に配本を行っていく。

学校と区立図書館が連携して、学校教育における読書環境の充実を図っていく。

6 「としょねっと便」の運行 [図書館課]

区立小・中学校等への団体貸出や保護者による読み聞かせに使用する図書等を専用コンテナで運搬する「としょねっと便」を運行し、学校等において区立図書館の図書等が利用しやすい環境を推進する。

7 学校司書の配置の検討 [教育委員会]

専門的な知識・経験を有する学校図書館担当事務職員（いわゆる「学校司書」）の配置について検討する。

8 データベース化の検討 [教育委員会]

本の検索、入手が容易になるように学校図書館蔵書のデータベース化及びインターネット環境整備を検討する。

9 図書の整備・充実 [教育委員会]

区立幼稚園及び小・中学校の図書購入費の増額などにより、図書の整備・充実を図る。

10 学校図書館の機能の強化 [幼稚園、小・中学校]

学校図書館の機能を整備・充実し、幅広い情報検索に対応した「学習・情報センター」「読書センター」とする。

学校図書館の休み時間・放課後の利用開放、専門知識を有する専任職員の導入や図書委員会活動、学校図書館ボランティアの協力、区立図書館との連携強化により、学校図書館の利用をさらに促進する。

区立図書館からテーマに沿った図書の「団体貸出」を利用する。